

科目名	哲学的人間学特論Ⅰ	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 必修
担当教員	関川 悦雄		
開講期	前期		
授業概要	哲学的人間学 (Philosophische Anthropologie) は、人間存在・人間のあり方を全体的に、総合的にとらえ直そうとする学問領域である。家政学 (人間生活学) 研究を目指す院生の皆さんにとっても、自らの学問の基盤にこの研究領域は不可欠である。従って、本授業のねらいは、ボルノーやその他の思想家の哲学的人間学を研究素材として、家政学の哲学的基盤を問うという点にある。関連文献を購読することによって、院生の皆さんが大学院レベルの読解能力や思考力を習得できるようにしたい。		
達成目標	1 ボルノー・ブレスナー・フロムらの考え・思想のまとめを通して、哲学的人間学の内容を理解することができたか。 2 家政学は究極的に人間の存在を根源的に問うというところにまで深化することは可能か。 3 講読のしかたや論文の書き方・作成方法や引用のしかたなどを習得できたか。		
受講資格		成績評価 方法	少人数での文献講読。担当の院生が自ら作成したレジュメにしたがって発表し、討議を行うことで、理解・思索を深めていく。発表者以外の院生も予習が必須である。さもないと討議が成立しないでしょう。評価はふだんの調べ・レジュメ作成・発表・討議などで60点とし、他に学期末にレポートで40点として、合計100点とする。出席点は成績評価には含めない。
教科書	ボルノウ・ブレスナー著/藤田健治他訳『現代の哲学的人間学』(白水叢書4、白水社、1976年、2002・2005年復刻版もあり)。ボルノー著/森田孝・大塚恵一訳編『問いへの教育—哲学的人間学の道—』(川島書店、1978年、再版もあり)。いずれの著書も学内の図書館にある。		
参考書	関川悦雄『ブーバー教育論の研究—教師と子どもの教育関係—』(風間書房、2016年)。教育思想史学会編『教育思想事典』増補改訂版(勁草書房、2017年)(旧版でもよい)。		
学生への要望	講義への主体的、協力的な参加を要望する。専用のノートを準備すること。		
オフィスタイム	水曜Ⅲ限(12:50~14:20)；木曜Ⅳ限(14:30~16:00) 場所：教職課程推進室 随時、時間のあるときに相談に応じるので、下記のメール・アドレスで事前のアポをとること。ugg28553@m4.dion.ne.jp		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容
1	講義ガイダンス	授業の進め方や講読のしかた、成績評価の付け方、討議の仕方などを説明する。少人数の受講者なので、ゼミ形式(事前調べ・発表・質疑応答の一連の流れ)をとる。テーマや講読の箇所は、院生の皆さんと相談の上決定する。そのため、次回以降の項目は単に「講読」で表示する。	予習・復習；レポート作成 60
2	講読(1)	哲学的人間学に関する見方・定義。	予習・復習；レポート作成 60
3	講読(2)	ボルノウの思想	予習・復習；レポート作成 60
4	講読(3)	ブレスナーの思想。	予習・復習；レポート作成 60
5	講読(4)	フロムの思想。	予習・復習；レポート作成 60
6	講読(5)	ゲーレンの思想。	予習・復習；レポート作成 60
7	講読(6)	ポルトマンの思想。	予習・復習；レポート作成 60
8	講読(7)	ヘングステンベルクの思想。	予習・復習；レポート作成 60
9	講読(8)	アールの思想。	予習・復習；レポート作成 60
10	講読(9)	教育的人間学。	予習・復習；レポート作成 60
11	講読(10)	生命への畏敬。	予習・復習；レポート作成 60
12	講読(11)	真理とは何か。	予習・復習；レポート作成 60
13	講読(12)	家屋の人間学的機能。	予習・復習；レポート作成 60
14	講読(13)	問うことへの教育。	予習・復習；レポート作成 60
15	授業のまとめ	人間存在をトータルに把握できたかを確認し、それについて論述する。	予習・復習；レポート作成 60

平成31年度

科目名	人間生体特論Ⅱ	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科博士課程 1年 2単位 選択
担当教員	西山 慶治		
開講期	後期		
授業概要	人体を構成する基本的構造と機能を学ぶため、細胞、組織、器官並びに系統別レベルで学修する。この学修によりヒトが進化して現在の構造と機能を獲得する過程で、人体に具現化された自然の法則を学ぶ。		
達成目標	人体について構造と機能を理解し、さらに人類の進化を学修することによりヒトの形態と機能を概説できる。		
受講資格	大学院に籍をおき、人類の進化に興味を抱くこと	成績評価 方法	理解度の確認レポート（1回目40%、2回目30%、3回目30%） 合計100%（100点）
教科書	講義プリントを配布して使用		
参考書	シンプル解剖生理学、入門人体解剖学、他		
学生への要望	人体の構造と機能を学び、ヒトの存在について考える。		
オフィスタイム	水曜日あるいは木曜日の放課後（5校時以降）に家政学館3階解剖学研究室において。不在の時にはメモを残すこと。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	解剖学総論	人体とは、自然の法則が人体を借りて具現化されたものである。その法則を人体の基本構造から学ぶ。	人体の基本的形態、特徴、進化、系統、器官、組織、細胞などの基本的用語を確認する。
2	細胞学	生命の最小単位である細胞について、その構造と機能を学ぶ。	細胞の構造と機能、遺伝子の働きを復習する。
3	組織学総論	人体を構成する上皮組織、支持組織、筋組織並びに神経組織について学ぶ。	人体の4つの組織の概念を調べる。
4	骨格系Ⅰ	人体の支柱である骨格の組織構造と役割、発生、機能・経年変化、骨の連結を学ぶ。	骨の構造、組織、働き、連結、発生を調べる。
5	骨格系Ⅱ	各骨格の名称と形状を学び、各部位での役割を理解して人体の特徴を学ぶ。	主要な骨の名称と形状を学び、関節の動きを考える。
6	筋系	骨格筋の概略を学び、運動器としての役割を理解する。	筋肉の種類、筋収縮、主要な筋の作用を調べる。
7	消化器系Ⅰ	消化器の各部位の構造を学び、消化機能の概略を理解する。	消化器の各部の位置、名称、形、役割をまとめる。
8	消化器系Ⅱ	消化器の主要部位の組織構造と機能を学ぶ。	消化腺の名称、位置、役割をまとめる。
9	呼吸器系	呼吸器の各部位の構造を学び、呼吸機能の概略を理解する。	呼吸器系の主要部位の名称、位置、形態、働きを調べる。
10	泌尿・生殖器系	尿の生成と排泄を担う器官の構造と機能を学ぶ。生殖器の構造、性差、発生並びにその機能を学ぶ。	泌尿・生殖器の主要部位の名称、形状、役割をまとめる。
11	脈管系、内分泌系	心臓を中心とした循環器の構造と役割を学ぶ。ホルモンを使って情報を伝達する内分泌系の構造と働きを学ぶ。	体液の循環、心臓の位置、構造、全身の主要血管を調べる。
12	神経系Ⅰ	中枢神経系の脳と脊髄の位置、構造、機能について学ぶ。	脳と脊髄の形状、位置、働きを調べる。
13	神経系Ⅱ	末梢神経の脳神経と脊髄神経並びに自律神経について学ぶ。	末梢神経の主要なものの名称と分布を調べる。
14	感覚器系	人体の情報入力器官である感覚器の構造と機能を学ぶ。	5感の感覚器の名称、形、働きをまとめる。
15	発生学	人体の発生と形成を学び、人類の特徴を理解する。	人体の発生と成長並びに老化を考える。

平成31年度

科目名	家政学原論特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科博士課程 1年 2単位 必修	
担当教員	影山 彌			
開講期	前期			
授業概要	故関口富左名誉学園長が提唱された、「新しい家政学のパラダイム」について、現代における学問観、科学観及び家政学原論を通して、その今日的意味を検証するとともに、その発展的展開の可能性を探る。			
達成目標	本学の「新しい家政学のパラダイム」のもつ、現在および将来の学問としての家政学に対する可能性について認識できること。			
受講資格	大学院 人間生活学研究科人間生活学専攻博士課程1年	成績評価 方法	発言力 (20%) レポート (80%)	
教科書	関口富左『家政哲学』家政教育社1977、関口富左編著『人間守護の家政学』家政教育社			
参考書	O.F. ボルノー著、大塚恵一他訳『人間と空間』せりか書房1978 G. バシュラール著、岩村行雄訳『空間の詩学』思潮社1969 サン＝テグジュベリ著、山崎庸一郎訳『城砦』みすず書房1976			
学生への要望	参考文献を事前に読むことに努める。			
オフィスタイム	金曜日を除く昼休み (12:00~12:50) 創学館4階NO.2研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	「家政学の新しいパラダイムについてⅠ」	1984年、オスロー大学で開催された国際家政学会で発表した、「家政学の新しいパラダイムⅠ」、すなわち新しい家政学の理念論について解説する。	講義資料について復習する。 60
2	「家政学の新しいパラダイムについてⅡ」	新しい家政学の構想における、独自の的方法論の探求（構築）について解説する。	講義資料について予習・復習する。 60
3	「家政学の新しいパラダイムについてⅢ」	新しい家政学の構想における、公的政策の領域設定について解説する。	講義資料について予習・復習する。 60
4	『家政哲学』の理解（1）	関口富左編著『家政哲学』第三章人間守護の家政学を通して、「家政学の新しいパラダイムⅠ」の家政学の理念論を理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
5	『家政哲学』の理解（2）	『家政哲学』第三章の理解を通して、「家政学の新しいパラダイムⅡ」の独自の的方法論を理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
6	『家政哲学』の理解（3）	『家政哲学』第六章人間守護と社会を通して、「家政学の新しいパラダイムⅢ」の公的政策の領域を理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
7	サン＝テグジュベリ『城砦』の理解	『家政哲学』の思想の基盤の一つとなっている、サン＝テグジュベリにおける「住むこと」の意味を理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
8	G. バシュラール『空間の詩学』の理解	G. バシュラールにおける「住むこと」の哲学的意味を捉える。	講義資料について予習・復習する。 60
9	O.F. ボルノー『人間と空間』の理解	『家政哲学』の大きな哲学的基盤となっている、O.F. ボルノーにおける「住むこと」の人間学的意味を理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
10	O.F. ボルノー 「人間とその家」の理解	O.F. ボルノーにおける「住むこと」の人間学的意味を捉える。	講義資料について予習・復習する。 60
11	M. ハイデガー『建てる、住む、学ぶ』の理解	M. ハイデガー 晩年の思想の転換といわれる、彼の「住むこと」の意味を理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
12	関口富左編著『人間守護の家政学』の理解（1）	『人間守護の家政学』第2部家政学原論を通して、本学家政学の理念、「人間守護」、目的を理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
13	『人間守護の家政学』の理解（2）	第2部家政学原論を通して、本学家政学の定義・対象・方法を理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
14	『人間守護の家政学』の理解（3）	第2部家政学原論を通して、本学家政学の独自性・体系構造・行為・技術などを理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
15	本学家政学のパラダイムの検証	本学家政学のパラダイムが妥当性を有するかどうか、現代の科学編、学問編から検証する。	講義資料について予習・復習する。 60

科目名	社会福祉学特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	村田 清		
開講期	後期		
授業概要	<p>〔授業の目的・ねらい〕 ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、ジェントルティーチングなどの社会福祉の理論を学び、社会福祉の法制度がどのように整備・改正されてきたのかを踏まえて、社会福祉の現状と課題について理解する。さらに、児童家庭福祉。高齢者福祉、障害者福祉、地域福祉などの各領域について、実践に基づいた考察・研究を深める</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 資料に基づいて講義をし、文献、映像、写真などを参考に理解を深め、質疑や討論を行って社会福祉の全体像を把握する。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 社会福祉の理論を理解し、福祉援助者として必要な基礎的知識・技術や倫理性を習得する。</p>		
達成目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、ジェントルティーチングなどの社会福祉の理論を学び、社会福祉の法制度がどのように整備・改正されてきたのかを踏まえて、社会福祉の現状と課題について理解する。さらに、児童家庭福祉。高齢者福祉、障害者福祉、地域福祉などの各領域について、実践に基づいた考察・研究を深める</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 資料に基づいて講義をし、文献、映像、写真などを参考に理解を深め、質疑や討論を行って社会福祉の全体像を把握する。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 社会福祉の理論を理解し、福祉援助者として必要な基礎的知識・技術や倫理性を習得する。</p>		
受講資格	大学院生	成績評価 方法	レポート(50)、授業態度や研究意欲等(50)により総合的に評価する。
教科書	特に指定しない		
参考書	国民の福祉と介護の動向(厚生労働統計協会発行)		
学生への要望	社会福祉の理念や意義を理解し、地域社会での人々の支えあいの在り方を学んでほしい。		
オフィスタイム	授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	オリエンテーション、社会福祉とは何か	オリエンテーション、社会福祉の基礎概念と現代社会について学習する。	0
2	社会福祉の歴史と変遷	社会福祉の歴史とその移り変わりについて、我が国と諸外国のあらましを学習する	0
3	社会福祉をめぐる近年の動向	高齢化・少子化の進展と時代の変化に対応した法律や制度の改正について学習する。	0
4	社会福祉基礎構造改革とノーマライゼーション	ノーマライゼーションやリハビリテーション理念の浸透や現代社会に影響を与えている社会福祉理論について学習する。	0
5	子ども家庭福祉の現状と課題	次世代育成や子育て支援・少子化対策など子供家庭福祉の現状と課題について学習する。	0
6	高齢者福祉の現状と課題	介護保険やさまざまな高齢者福祉サービスについて理解を深める。	0
7	障害者福祉の現状と課題	障害児者の福祉について、我が国の障害者施策や、ソーシャルインクルージョンの考え方を理解し、今後の障害者福祉を展望する。	0
8	地域福祉の現状と課題	地域の住民福祉の現状や社会福祉協議会の活動を学び、日常生活支援事業など地域の新しい支え合いについて学習する。	0
9	社会福祉サービス利用者の権利擁護	社会的に弱い立場にある人の人権を守る制度や思想について、また非暴力の支援理論であるジェントルティーチングを学習する。	0
10	社会福祉の行政組織と関係機関	社会福祉を担う行政組織や関係機関の役割や業務の内容について学習する。	0
11	社会福祉サービスの担い手	社会福祉サービスを担う専門職や従事者の現状と業務の内容について学習する。	0
12	社会福祉援助技術と援助の原則	社会福祉サービスを実施する理論や方法と基本的な原則について学習する。	0
13	社会福祉施設等の社会資源	社会福祉サービスを実際に行う施設や地域の社会資源、ネットワークについて学習する	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
14	社会福祉専門職の倫理と行動規範	社会福祉専門職の諸団体における倫理綱領等を通して求められる援助者の態度や理念について学ぶ。	0
15	まとめ	社会福祉の理念や制度についてまとめを行い、人間の地域生活や支えあうコミュニティのあり方を考える。	0

科目名	生活技術特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科博士課程 1年 2単位 選択/大学院 人間生活学研究科博士課程 1年 2単位 必修	
担当教員	武井 玲子			
開講期	後期			
授業概要	衣生活分野における主要な生活技術内容。①繊維・糸・布の科学と被服への応用。②汚れと洗淨の科学。③人体環境安全性の視、などの内容を講義す。また、企業における企画開発や研究開発部門での勤務経験を活かして、家庭用品の安全性の考え方などの講義を行う。実務経歴：衣食住生活関連の家庭用品製造販売企業において、企画開発や研究開発、安全性評価や技術広報活動を担当。			
達成目標	衣生活分野も含めて幅広い生活技術に関する知識と実技的能力を把握している。			
受講資格	特になし	成績評価 方法	授業態度：30点 課題レポート：70点	
教科書	プリント配布			
参考書	No. 2 被服学研究室所蔵			
学生への要望	毎日の衣生活を意識すること。その中で、衣生活上の問題点を抽出し、総合科学的視点で問題解決を図る努力をする。			
オフィスタイトム	火曜日（Ⅱ時限）：No. 2 被服学研究室 水曜日（全日）：No. 2 被服学研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容
1	ガイダンス	衣生活分野における生活技術内容について概説する。また、実務経験から学生の論文テーマに参考となる内容に関しても説明する。	本日の講義内容をまとめ、問題点ラビックアップする。
2	被服着用の目的・機能	被服着用な主要な3つの目的である①生理物理的機能、②心理的機能、③社会的機能、のそれぞれの意味することと歴史の変遷について概説することにより、被服の目的・機能が社会的文化や生活者の意識やライフスタイル変化に伴って変遷することを理解する。	配布資料を参考としながら、本日の講義内容を復習し、理解を深める。
3	被服の生理・物理的機能	被服を構成するテキスタイル（繊維・糸・布）の種類と特徴・機能と人体の生理的機能、運動機能と関連つけて理解を深める。	配布資料を参考としながら、本日の講義内容を復習し、理解を深める。
4	被服の心理的・社会的機能	心理的・社会的機能と深い関係のある色彩の科学と応用、香については生活上の問題点・課題として考察する。	配布資料を参考としながら、本日の講義内容を復習し、理解を深める。
5	安心・安全・環境負荷低減をめざした衣生活	安心、安全な被服と被服着用について肌着、履物、生理用ナプキンを事例として考察する。また、環境負荷削減を目指した衣生活に関しては、ライフサイクルアセスメントの考え方に沿って、学ぶ。	配布資料を参考としながら、本日の講義内容を復習し、理解を深める。
6			0
7			0
8			0
9			0
10			0
11			0
12			0
13			0
14			0
15			0

科目名	教育学的人間学特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 必修
担当教員	関川 悦雄		
開講期	後期		
授業概要	本授業は前期に設けられた「哲学的人間学 (Philosophische Anthropologie) 特論 I」の履修を前提として進めて行く。「哲学的人間学特論」では、人間存在・人間のあり方を全体的に、総合的にとらえ直した。そして、ボルノーやその他の思想家の哲学的人間学を研究素材として、家政学の哲学的基盤を問うた。「教育学的人間学特論」の授業では、こうした考察を踏まえ、その人間の存在やあり方を、どうやって人間の成長・生成や発達についで行か、が課題となる。この課題に沿って、院生の皆さんが前期に引き続いて、関連文献を購読することによって、大学院レベルの読解能力や思考力を習得できるようにしたい。		
達成目標	【達成度目標】 1 「臨床の知」を参照しつつ、人間の成長・生成や発達に関する理解を深めることができたか。 2 家政学は究極的に人間の成長・生成や発達にどこまで寄与することは可能か。 3 講読のしかたや論文の書き方・作成方法や引用のしかたなどを習得できたか。		
受講資格	大学院 人間生活学研究科 修士課程専攻 1年 2単位 必修	成績評価 方法	少人数での文献講読。発表担当の院生が自ら作成したレジメにしたがって発表し、討議を行うことで、理解・思索を深めていく。発表者以外の院生も予習が必須である。さもないと討議が成立しないでしょう。評価はふだんの調べ・レジメ作成・発表・討議などを総合的に行う。これらの評価を含めて、「学期末のまとめの作成で、100点とする。
教科書	岡本英明『ボルノウの教育人間学』（サイマル出版会、1972年）。田中每実編『教育人間学—臨床と超越』（東京大学出版会、2012年）。ボルノウの著書は学内の図書館にある。		
参考書	授業中に、その都度、参考書（哲学的古典や教育哲学の関連する研究書、翻訳書）を挙げる。主要文献は、本学図書館等で利用すること。授業で出てきた専門用語や人名を、インターネット等で検索して印刷してファイルに入れておくこと。		
学生への要望	講義への主体的、協力的な参加を要望する。専用のノートを準備すること。		
オフィスタイム	水曜Ⅲ限（12:50～14:20）；同曜Ⅳ限（14:30～16:00）随時、時間のあるときに相談に応じるので、下記のメール・アドレスで事前のアポをとること。ugg28553@m4.dion.ne.jp		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	60
1	講義ガイダンス	授業の進め方や講読のしかた、成績評価の付け方、討議の仕方などを説明する。少人数の受講者なので、ゼミ形式（事前調べ・発表・質疑応答の一連の流れ）をとる。テーマや講読の箇所は、院生の皆さんと相談の上決定する。そのため、次回以降の項目は単に「講読」で表示する。	60
2	講読（1）	ボルノウの実存哲学と教育学。	60
3	講読（2）	ボルノウの教育的雰囲気。	60
4	講読（3）	ボルノウの教育人間学の方法と問題。	60
5	講読（4）	人間学と臨床性—教育人間学から臨床的人間形成論へ。（ここからは田中每実の編著書）	60
6	講読（5）	生の技法としての応答。	60
7	講読（6）	人はなぜ学ぶのか—学びのエコロジーへ。	60
8	講読（7）	「生きることのかなしみ」というカー悲しみの教育人間学に向けて。	60
9	講読（8）	教育人間学の作法—「教育人間学にはディシプリンがない」をめぐって。	60
10	講読（9）	表象とメディア—教育学的メディア論のための一考察。	60
11	講読（10）	生成と発達を実現するメディアとしての身体。	60
12	講読（11）	研究方法考（1）。	60
13	講読（12）	研究方法考（2）。	60
14	講読（13）	研究方法考（3）。	60
15	授業のまとめ	人間の成長・生成や発達をトータルに把握できたかを確認し、それについて論述する。	60

平成31年度

科目名	健康生活特論 I	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	紺野 信弘		
開講期	前期		
授業概要	人間の健康について、英文専門書の翻訳を通して学習する。翻訳の過程で疫学的な考え方についての講義も行う。集団の健康を扱うのに必要な統計の手法についても学ぶ。		
達成目標	人間の健康、特に人間集団の健康を知る上での疫学的考え方の重要性を学ぶ。		
受講資格	大学院修士課程の院生	成績評価 方法	英文講読の和訳の提出60点、レポート提出40点 合計100点満点
教科書	特にありません。授業に必要な印刷物は配布します。		
参考書	国民衛生の動向 Healthy women, healthy lives. a harvard medical school book ISBN 978-0-7432-1774-3		
学生への要望	授業では、パソコンを使用することがあるので、パソコンは常に持参すること。		
オフィスタイム	水曜日のVコマ目、木曜日のIVコマ目 臨床生理学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	60
1	健康の概念	健康とはなにかを、公衆衛生学の立場から、あるいはWHO憲章、日本国憲法の生存権から考える。	健康とはなにかについて調べる
2	成人の健康	生活習慣病とはなにか、またそのリスクと予防について考える。健康日本21と健康日本21（二次）について考える。	生活習慣病について考察する
3	疫学（1）	疫学とは。疫学の歴史。個人の健康から集団の健康へ。	疫学の概念について調べる
4	疫学（2）	疫学の種類。疫学の利用	良く使われる疫学について調べる
5	保健統計（1）	集団の健康評価に必要な保健統計について。人口静態統計と人口動態統計について。	人口静態・動態統計の違いを調べる
6	保健統計（2）	人口ピラミッド。合計特殊出生率。年齢調整死亡率。保健統計からみた少子高齢化。	わが国の合計特出生率について
7	保健統計（3）	疫学研究に必要な統計の基礎。統計ソフトIBM-SPSSについて。	統計ソフトIBM-SPSSの利用法の学習
8	保健統計（4）	SPSSの実際。SPSSを用いてデータの解析を行う。	SPSSをサンプルデータを用いて実際に使用してみる
9	高齢者の健康（1）	老化の概念。	老化の概念について考察する
10	高齢者の健康（2）	加齢による生体の生理的変化。健康と生活の質	加齢に伴う骨・筋の変化について学習する
11	女性の健康（1）	英文講読”Healthy women, healthy lives”米国ハーバード大学医学部から出版されている「女性の健康的な生き方」についてのテキストをもとに”健康”について考える	与えられた部分の和訳を行う
12	女性の健康（2）	上記テキストの中にある、”看護師の健康研究とは”について英文和訳をしながら学習する。	英文和訳の継続
13	女性の健康（3）	”健康研究”を講読しながら疫学について解説、学習する。	和訳部分を解釈し意味の理解に努める
14	健康生活と毒性学	化学物質の安全性。毒性物質の体内動態。農薬の毒性について理解を深める。	量反応関係について理解を深める
15	総括講義	これまでの講義をまとめ”健康”について理解を深める。	これまでの講義を参考にして、もう一度「健康」について振り返り考察する

科目名	人間生体特論 I	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	西山 慶治		
開講期	前期		
授業概要	人体を構成する基本的構造と機能を学ぶため、細胞、組織、器官並びに系統別レベルで学修する。この学修によりヒトが進化して現在の構造と機能を獲得する過程で、人体に具現化された自然の法則を学ぶ。		
達成目標	人体について構造と機能を理解し、さらに人類の進化を学修することによりヒトの形態と機能を概説できる。		
受講資格	大学院に籍をおき、人類の進化に興味を抱くこと	成績評価 方法	理解度の確認レポート（1回目40%、2回目30%、3回目30%） 合計100%(100点)
教科書	講義プリントを配布して使用		
参考書	シンプル解剖生理学、入門人体解剖学、他		
学生への要望	人体の構造と機能を学び、ヒトの存在について考える。		
オフィスタイム	水曜日あるいは木曜日の放課後（5校時以降）に家政学館2階解剖学研究室において。不在の時にはメモを残すこと。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	60
1	解剖学総論	人体とは、自然の法則が人体を借りて具現化されたものである。その法則を人体の基本構造から学ぶ。	60
2	細胞学	生命の最小単位である細胞について、その構造と機能を学ぶ。	90
3	組織学総論	人体を構成する上皮組織、支持組織、筋組織並びに神経組織について学ぶ。	30
4	骨格系 I	人体の支柱である骨格の組織構造と役割、発生、機能・経年変化、骨の連結を学ぶ。	60
5	骨格系 II	各骨格の名称と形状を学び、各部位での役割を理解して人体の特徴を学ぶ。	60
6	筋系	骨格筋の概略を学び、運動器としての役割を理解する。	60
7	消化器系 I	消化器の各部位の構造を学び、消化機能の概略を理解する。	90
8	消化器系 II	消化器の主要部位の組織構造と機能を学ぶ。	60
9	呼吸器系	呼吸器の各部位の構造を学び、呼吸機能の概略を理解する。	60
10	泌尿・生殖器系	尿の生成と排泄を担う器官の構造と機能を学ぶ。生殖器の構造、性差、発生並びにその機能を学ぶ。	60
11	脈管系、内分泌系	心臓を中心とした循環器の構造と役割を学ぶ。ホルモンを使って情報を伝達する内分泌系の構造と働きを学ぶ。	90
12	神経系 I	中枢神経系の脳と脊髄の位置、構造、機能について学ぶ。	60
13	神経系 II	末梢神経の脳神経と脊髄神経並びに自律神経について学ぶ。	30
14	感覚器系	人体の情報入力器官である感覚器の構造と機能を学ぶ。	60
15	発生学	人体の発生と形成を学び、人類の特徴を理解する。	30

科目名	家政学原論Ⅰ	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 必修
担当教員	影山 彌, 安田 純子		
開講期	前期		
授業概要	家政学原論のねらいは、家政学とはどういう学問であるかを解明することにある。すなわち、家政学という学問の理念、目的、対象、方法、独自性などを考察し、家政学の学問としての要件を明らかにすることである。この問題に関連して、ヨーロッパにおける学問の動向、現代科学の特色などを予備的に理解し、本学の家政哲学、本学の家政学のパラダイムはどのようなものかの理解を通して、家政学の学問としてのあり方を探究する。		
達成目標	本学の家政哲学を深く理解し、家政哲学に基づき、本学家政学のパラダイムを理解できること。		
受講資格	大学院（修士課程）	成績評価 方法	発言力（20%）、レポート（80%）
教科書	随時、紹介する。		
参考書	関口富左編著『家政哲学』家政教育社 o. F. ボルノー、大塚恵一他訳『人間と空間』せりか書房 G. バシュラール、岩村行雄訳『空間の詩学』思潮社 関口富左編著『人間守護の家政学』家政教育社		
学生への要望	参考文献を事前に読むことに努める。		
オフィスタイム	金曜日を除く昼休み（12：00～12：50） 創学館4階NO.2研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	ヨーロッパにおける学問の意味について	ヨーロッパにおける学問の歴史は、古代ギリシア、ローマや12世紀ルネッサンスに遡ることができるが、17世紀、自然を中心として知る、認識するという学問が科学であるという考えが明確になったことを理解する。	60
2	新たな科学の誕生	19世紀、イギリスを中心として数学や物理学の科学者集団が誕生し、個別科学が誕生し、発展したことを解説する。	60
3	新たな科学の特色	新たな科学の特色と科学者の価値意識について講ずる。	60
4	現代科学への警告（1）	朝永振一郎・ノーベル物理学賞受賞者、多田富雄・国際免疫学会会長、吉川弘之・日本学術会議元会長、などによる現代科学に対する警告と提言を解説する。	60
5	現代科学への警告（2）	村上陽一郎・国際基督教大学教授による現代科学に対する警鐘を解説する。	60
6	G. バシュラールの家の人間学的意味について	本学家政哲学の哲学的ベースの一つである、G. バシュラールの提起する家の人間学的意味について説明する。	60
7	O. F. ボルノーにおける「住むこと」の人間学的意味について	本学家政哲学の直接的な哲学的ベースである、O. F. ボルノーの「住むこと」の人間学的意味について、講演「人間とその家」を通して解説する。	60
8	O. F. ボルノーにおける「住むこと」の人間学的意味について	「住むこと」の人間学的意味について、O. F. ボルノー著『人間と空間』を通して解説する。	60
9	「家政哲学」の確立	関口富左故名誉学園長先生がO. F. ボルノーの哲学を家政学において独自に展開し、家政学の理念として「人間守護」概念を提示したこと経緯について解説する。	60
10	家政哲学の内容（1）	関口富左故名誉学園長先生が構築した「家政哲学」の内容について、関口富左教授編著『家政哲学』（家政教育社）を通して説明する。	60
11	家政哲学の内容（2）	「家政哲学」の内容について、『家政哲学』を通して説明する。	60
12	「家政哲学」に基づく本学家政学のパラダイムについて	「家政哲学」と本学家政学のパラダイムとの関係について説明し、パラダイムの全体像を説明する。	60
13	本学家政学のパラダイムについて	本学家政学のパラダイムにおける、特に研究方法—無記性的研究方法、使用価値的研究方法、人間価値創出的研究方法—の重要性について解説する。	60
14	本学家政学のパラダイムの意義について	本学家政学のパラダイムが、家政学のみならず学問一般にとっても不可欠な学問研究におけるパラダイムであることを論証する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
15	総まとめ	本学の「家政哲学」及び本学家政学のパラダイムに基づき、「人間守護」を理念とした学問研究を推進することが今後ますます重要であることを確認する。	講義資料について予習・復習する。 60

平成31年度

科目名	生活学原論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 必修
担当教員	影山 彌		
開講期	後期		
授業概要	川添登著『生活学の提唱』を通して、今和次郎の「生活学」の内容を理解するとともに、人間生活学としての本学家政学の内容を理解する。		
達成目標	本学の人間生活学との比較を通して、生活学の目的、対象、方法、意義について認識できること。		
受講資格	大学院（修士課程）	成績評価 方法	受講態度（20%）、レポート（80%）
教科書	特に無し。 随時、資料を配布する。		
参考書	随時、紹介する。		
学生への要望	授業目標を毎回確認すること。		
オフィスタイム	金曜日を除く昼休み（12：00～12：50） 創学館4階No.2研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	家政学と生活学（1）	隣接科学である家政学のあり方に対して、生活学の立場から、家政学を「女性の学」「生活者学」として捉えていることを理解する。	講義資料について復習する。 60
2	家政学と生活学（2）	家政学のあり方をめぐって、生活学の立場から、「民間の学」であるべきとの主張を検討する。	講義資料について予習・復習する。 60
3	考現学（1）	今和次郎の「生活学」そのものともいえる「考現学」について、出生、動機、考現学以前、方法の学、などの側面を理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
4	考現学（2）	今和次郎の考現学について、野外科学、採集、一回性のもの、説述と整理、などの側面を理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
5	考現学（3）	今和次郎の考現学について、主体と客体、考現学再興、などの側面を理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
6	生活学の提唱（1）	生活学の出自、考現学から生活学への流れについて理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
7	生活学の提唱（2）	生活学の可能性、生活学の方向性、国民学としての生活学、などについて理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
8	シビル・ミニマムについて（1）	生活空間にかかわる問題の解決策として提示されたシビル・ミニマムの支柱の一つ、社会保障について理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
9	シビル・ミニマムについて（2）	シビル・ミニマムの二本目の支柱である、社会資本の内容について理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
10	シビル・ミニマムについて（3）	シビル・ミニマムの三本目の支柱である、社会保健の内容について理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
11	流行論（1）	今和次郎の、日本の流行を「下から上へ」と見る見解について、「江戸の流行」に関する考察から理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
12	流行論（2）	「下から上へ」の流行と日本文化の特性との関係について捉える。	講義資料について予習・復習する。 60
13	人間生活学としての本学家政学（1）	本学家政学が、O. F. ボルノーの哲学に基づき、対象空間として家を中心とし、地域社会、国、世界を考える、人間生活学であることを理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
14	人間生活学としての本学家政学（2）	「生活の外部化」による「都市的生活様式の全般化」という現代生活において、社会も対象空間とする人間生活学としての家政学が大事であることを理解する。	講義資料について予習・復習する。 60
15	人間生活学としての本学家政学（3）	本学の人間生活学が「人間守護」を目的としている学問であることは、学問として普遍的価値を有することを理解する。	講義資料について予習・復習する。 60

科目名	生活文化史特論Ⅱ	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	桑野 聡		
開講期	前期		
授業概要	大学院生として各自の専門研究領域を客観的に位置づけられる視野を持つことを目標に、歴史学・文化史の立場から現代的・社会的問題の所在を考える。 文化（欧米文化）を例に院生各自の研究に対応した課題を取り上げながら、文化の形成・変容・継承の問題を考える。近代文明が多数の地域文化の融合の上にヨーロッパ文化を共通要素として形成されていることに着目し、その問題点を考えると共に、私たちの未来に関わる諸問題を検討する機会を作りたい。		
達成目標	問題を見つける姿勢・討論する力・調べる方法と技術などを身に着ける。		
受講資格	本学大学院生	成績評価 方法	授業時の討論（30%）と期末レポート（70%）
教科書	桑野聡「欧米諸国における生活と文化」（関口富左編著『人間守護の家政学』家政教育社 1999年）264～274～276頁		
参考書	授業時に適宜紹介する。		
学生への要望	①自分自身の研究テーマをきちんと説明できる姿勢をもつこと。 ②新聞やニュースを見る日常生活の姿勢をもつこと。 ③議論に積極的に参加する主体性をもつこと。		
オフィスタイム	火曜Ⅱ時限目（10:30～12:00）・金曜Ⅴ時限目（16:10～17:40） 考古学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	60
1	ガイダンス	参加院生の研究テーマを確認し、授業の進め方を検討する。	異文化理解のための議論を展開するためのウォーミングアップをする。
2	講読1-①	村田哲朗「文化の多様性」をテキストに、文化と文明について討論する。	日本人が考える「文化」「文明」の考え方を理解する。
3	講読1-②	村田哲朗「文化の多様性」を踏まえて、各自の研究との関連テーマで討論を実施する。	文化の多様性とは、価値観の多様化を意味することを理解する。
4	講読2-①	桑野聡「欧米諸国における生活と文化」をテキストに通読し、問題点の洗い出しを行う。	日本人として西洋文化・文明に対する自分の考えを整理する。
5	講読2-②	桑野聡「欧米諸国における生活と文化」第1章を手掛かりに、日本人にとってのヨーロッパについて考える。	近代化の歴史と西洋文化・文明の不可分な関係を理解し、歴史を見る立ち位置を考える。
6	講読2-③	桑野聡「欧米諸国における生活と文化」第2章を手掛かりに、中世ヨーロッパの貴族の誕生について考える。	高校世界史の基礎知識を確認しておく。
7	講読2-④	テキスト第2章を手掛かりに、騎士と騎士道について考える。	イメージとしての騎士と中世の実像を区別し、理解する。
8	講読2-⑤	テキスト第2章を手掛かりに、貴族の彫像、横臥像について考える。	ヨーロッパ観光で訪れることの多い教会の重要な構成要素として貴族の彫像を考える。
9	講読2-⑥	テキスト第2章を手掛かりに、中世の食事について考える。	大航海時代以前の中世ヨーロッパの食文化をイメージしてみる。
10	講読2-⑦	テキスト第2章を手掛かりに、中世の恋愛について考える。	レディ・ファーストとされる西洋文化の異なる側面と構造的特徴を理解する。
11	講読2-⑧	桑野聡「欧米諸国における生活と文化」第3章を手掛かりに、近世における文明化の問題を考える。	中世後期から近代化という概念が意味する文化の変容を理解する。
12	講読2-⑨	テキスト第3章を手掛かりに、近世の「家政学」について考える。	現在の家政学とは異なる前近代ヨーロッパにおける家政学の概念を理解する。
13	講読2-⑩	桑野聡「欧米諸国における生活と文化」第4章を手掛かりに、近代における異文化理解について考える。	文化融合と文明化の意味を考え、この理解が時として差別や対立を生んできたことを理解する。
14	まとめ	半期の講義をまとめ、各自の研究テーマとの関係からレポートのテーマを検討する。	自分の研究テーマの社会的価値や他者から見た時の問題を話し合う。
15	エピローグ	レポートを提出し、これを材料に最終の討論を行う。	哲学的議論を踏まえて、自分自身の研究課題の大きな意義を再認識して欲しい。

科目名	生活経済学特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	石田 智宏		
開講期	後期		
授業概要	<p>〔授業の目的・ねらい〕 本講座の目的は、経済と公共道徳の観点から人間生活にとって価値のあるものは何かを問い、また、人間の幸福が何に依存するかを生活と経済のかかわりにおいて探求することである。さらに、消費生活と公共生活との相互関係や質的相違について理解することを目的とする。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 本講座ではまず、スミス、カント、ロールズ、サンデルらによる公共哲学の思想を参考にしながら、社会道徳的観点での「よい社会(good society)」と経済との関係について議論していく。また、近年のOECDの調査を中心とする主観的幸福度の実証結果を参考に、幸福度から見た「よき人生(well-being)」について考察を加える。</p> <p>〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕 市民生活に社会(公共空間・地域)が果たす役割が理解できること。 経済が現代生活に与える影響力について理解できること。 幸福度研究の含意と社会指標としての意義を議論できること。</p>		
達成目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 本講座の目的は、経済と公共道徳の観点から人間生活にとって価値のあるものは何かを問い、また、人間の幸福が何に依存するかを生活と経済のかかわりにおいて探求することである。さらに、消費生活と公共生活との相互関係や質的相違について理解することを目的とする。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 本講座ではまず、スミス、カント、ロールズ、サンデルらによる公共哲学の思想を参考にしながら、社会道徳的観点での「よい社会(good society)」と経済との関係について議論していく。また、近年のOECDの調査を中心とする主観的幸福度の実証結果を参考に、幸福度から見た「よき人生(well-being)」について考察を加える。</p> <p>〔授業終了時の達成課題(到達目標)〕 市民生活に社会(公共空間・地域)が果たす役割が理解できること。 経済が現代生活に与える影響力について理解できること。 幸福度研究の含意と社会指標としての意義を議論できること。</p>		
受講資格	とくになし	成績評価 方法	期末レポート100点
教科書	教員が毎回資料を配付する		
参考書	ブルーノ・S・フライ、『幸福の政治経済学』、ダイヤモンド社、2005。		
学生への要望	①毎回の内容をよく把握し、議論に参加すること ②現代の社会生活に関する興味・問題意識をもつこと。		
オフィスタイム	水曜5限(授業後)の教務部非常勤控室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	社会道徳科学としての経済学	社会道徳科学としての経済学 道徳のいくつかの問題	0
2	スミスの倫理と経済学	経済システムと生活世界 共感と神の手	0
3	経済と道徳的観点	マクロ経済と分配問題 女性労働力・非正規労働の課題	0
4	地域生活と自己統治	共同体の役割と新しい公共 公共的利益と市民的美徳について	0
5	社会に組み込まれる経済	市場主義と功利主義について 家事の社会的意義	0
6	社会的公正と公共心	教育、医療、福祉の市場化 公共空間の地位について	0
7	道徳と市場の境界	エンハンスメントの課題 被贈与性・生命の尊厳について	0
8	社会と道徳の空洞化	個人と私人について 地域文化とまちづくり	0
9	主観的ウェル・ビーイング	主観的幸福の内容と指標化 厚生経済学の命題と幸福の要因	0
10	幸福のフローとストック	瞬間幸福と累積幸福 加齢と幸福の関係	0
11	幸福の諸要因	生活満足度について ボランティアと幸福度	0
12	就業・所得と幸福	向社会的行動の意義 仕事の果たす役割	0
13	健康と幸福	健康の自己評価について 医療経済学との異同	0
14	家族・結婚と幸福	所得水準と結婚 結婚のメリット	0
15	新たなコミュニティをひらく	社会道徳の意義 消費生活と公共生活の関係	0

科目名	教育政策科学特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	山本 裕詞		
開講期	後期		
授業概要	本講義では、戦後日本の教育政策の変遷を確認しながら、それが人々の生活に与えた影響を分析する。特に、近年の教育政策の急激な変化に注目する際には、家庭や地域の教育機能も含めて、次世代の育ちを支援するための、あるべき教育政策となっているかを批判的に考察していく。		
達成目標	本講義では、戦後日本の教育政策の変遷を確認しながら、それが人々の生活に与えた影響を分析する。特に、近年の教育政策の急激な変化に注目する際には、家庭や地域の教育機能も含めて、次世代の育ちを支援するための、あるべき教育政策となっているかを批判的に考察していく。		
受講資格	教育政策について、主体的に探究する意欲を持ち、自律的に学習する方法を会得したいと強く願っている者。	成績評価 方法	授業の中で義務付ける課題研究の発表内容を中心（70%）に、課題レポート（30%）と総合して評価する。なお、無断欠席は履修放棄と見なす。
教科書	用いない。		
参考書	教育法令研究会編『教育基本法の解説』文部省1947年、五十嵐頭・伊ヶ崎暁生編著『戦後教育の歴史』青木書店1970年、堀尾輝久著『現代教育の思想と構造』岩波書店1971年、山本冬彦編著『教育の戦後思想-その批判と継承-』農山漁村文化協会1995年、井深雄二著『現代日本の教育改革-教育の私事化と公共性の再建-』自治体研究社2000年		
学生への要望	講義と演習とを組み合わせた授業形式となるので、自主的な学習姿勢を持つことが授業履修の前提となる。課題認識に基づいて、その分析対象の選定を自ら行い、分析し、発表する。そして、発表結果の講評に基づく課題意識の深まりが、次の授業までの探求内容となっていくような、学びの循環をつくっていききたいと思う。したがって、どこまでも学生自身の主体的な学びの姿勢を貫いてほしい。		
オフィスタイム	月曜Ⅱ限（10：30～12：00）、月曜Ⅲ限（12：50～14：20） 教職課程推進室奥 山本研究室（家政学館4階奥左）		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	オリエンテーション	シラバスを共有しながら、本講義の目的、授業の進め方、学習者が事前学習として学習しておくべき資料・先行研究の探索・入手方法、成績評価方法等について確認する。	120 復習 事前調査
2	教育勅語と教育基本法	我が国における戦前の教育体制から戦後のそれへの変遷について、「教育勅語と教育基本法」の比較を通じて理解を深める。 学習者は、事前に「教育勅語」と「旧教育基本法」についての基礎的知識を整理し、授業の冒頭で発表する。発表内容を確認した上で、不足部分を補いながら、その歴史的意義について考察を深め、今日に継続している論争点を紹介する。	120 復習 事前調査
3	政治的中立と国家の教育責任 1. 教育委員会①	教育委員会制度の変遷についての事実を確認することを通して、「教育における政治的中立性」と「国家の教育責任」の内実が変質していることを理解し、その意義を考察していく。学習者は、事前に旧「教育委員会法」について調べ、現行の教育委員会制度との違いをまとめ、授業の冒頭で発表する。授業者は学習者の発表内容を確認した上で、必要に応じて解説し、情報を補いながら、今日に継続している論争を紹介する。	120 復習 事前調査
4	政治的中立と国家の教育責任 2. 教育委員会②	前回の授業で紹介された教育委員会制度に関する諸論争について、学習者は自己の見解をまとめて発表する。授業者は学習者の理解度に応じて、検討すべき課題を指摘するので、それを踏まえて学習者は、課題解決に向けての課題研究計画の作成を開始する。	120 復習 事前調査
5	政治的中立と国家の教育責任 2. 教育委員会③	学習者は、前回の授業から作成を開始した課題研究計画の発表を行うとともに、研究の進捗状況を報告する。授業者は、必要に応じてアドバイスをを行い、特に授業者の作成した先行研究一覧の妥当性を評価し、改善点を指摘する。	120 復習 事前調査
6	政治的中立と国家の教育責任 3. 教育公務員特例法①	教育公務員特例法成立過程における「政治的中立と国家の教育責任」について、研究計画のモデルを示し、研究構想を発表する。学習者は、それと進行中の自己の課題研究との比較をした結果を自己評価し、必要に応じて改善・修正を行う。	120 復習 事前調査
7	政治的中立と国家の教育責任 3. 教育公務員特例法②	モデルとして作成された研究計画モデルに基づいて、授業者が研究発表のデモンストレーションを行う。学習者は、自身の研究についての進捗状況の報告と、必要に応じて課題を発表する。	120 復習 事前調査

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
8	政治的中立と国家の教育責任 4. まとめと討論	学習者は研究計画に基づいて進めてきた自己の研究発表を行う。授業者は講評を行う。また、「教育における政治的中立と国家の教育責任」について、明確になった点を整理する。	120 復習 事前調査
9	新旧教育基本法における「教育行政」の比較	学習者は事前に平成18年以降の教育行政の参考書数点における「教育行政」の記述を収集し、比較分析して授業に望む。授業者によって解説される新法立法過程の議論を踏まえ、比較分析結果について総括する。	120 復習 事前調査
10	戦後日本の教育政策の変遷と国民への影響 ①	授業者は戦後の政治的動向一般の変遷とオーバーラップさせながら、第9回までの学びを総括し、学習者は、次の3点について仮説を考察する。 1. 旧教育基本法の成立が国民に与えた影響 2. 旧教育委員会法が廃止され地方教育行政の組織及び運営に関する法律が成立したことの国民への影響 3. 教育基本法が全部改正されたこと	120 復習 事前調査
11	戦後の教育政策が国民に与えたと思われる影響①	学習者は「旧教育基本法の成立が国民に与えた影響」について、第10回に立てた仮説の検証結果を発表する。授業者は発表内容を講評し、必要に応じて修正・補足を行う。	120 復習 事前調査
12	戦後の教育政策が国民に与えたと思われる影響②	学習者は「旧教育委員会法が廃止され地方教育行政の組織及び運営に関する法律が成立したことの国民への影響」について、第10回に立てた仮説の検証結果を発表する。授業者は発表内容を講評し、必要に応じて修正・補足を行う。	120 復習 事前調査
13	戦後の教育政策が国民に与えたと思われる影響③	学習者は「教育基本法が全部改正されたこと」について、第10回に立てた仮説の検証結果を発表する。授業者は発表内容を講評し、必要に応じて修正・補足を行う。	120 復習 事前調査
14	戦後の教育政策が国民に与えたと思われる影響④	授業者によって「戦後の教育政策が国民に与えたと思われる影響①～③」を総括する。	120 復習 事前調査
15	総まとめ	授業の総まとめと、近年の教育政策における原理上の課題を指摘する。	360 復習 レポート作成

科目名	社会福祉学特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	村田 清		
開講期	後期		
授業概要	<p>〔授業の目的・ねらい〕 ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、ジェントルティーチングなどの社会福祉の理論を学び、社会福祉の法制度がどのように整備・改正されてきたのかを踏まえて、社会福祉の現状と課題について理解する。さらに、児童家庭福祉。高齢者福祉、障害者福祉、地域福祉などの各領域について、実践に基づいた考察・研究を深める</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 資料に基づいて講義をし、文献、映像、写真などを参考に理解を深め、質疑や討論を行って社会福祉の全体像を把握する。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 社会福祉の理論を理解し、福祉援助者として必要な基礎的知識・技術や倫理性を習得する。</p>		
達成目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、ジェントルティーチングなどの社会福祉の理論を学び、社会福祉の法制度がどのように整備・改正されてきたのかを踏まえて、社会福祉の現状と課題について理解する。さらに、児童家庭福祉。高齢者福祉、障害者福祉、地域福祉などの各領域について、実践に基づいた考察・研究を深める</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 資料に基づいて講義をし、文献、映像、写真などを参考に理解を深め、質疑や討論を行って社会福祉の全体像を把握する。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 社会福祉の理論を理解し、福祉援助者として必要な基礎的知識・技術や倫理性を習得する。</p>		
受講資格	大学院生	成績評価 方法	レポート(50)、授業態度や研究意欲等(50)により総合的に評価する。
教科書	特に指定しない		
参考書	国民の福祉と介護の動向（厚生労働統計協会発行）		
学生への要望	社会福祉の理念や意義を理解し、地域社会での人々の支えあいの在り方を学んでほしい。		
オフィスタイム	授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	オリエンテーション、社会福祉とは何か	オリエンテーション、社会福祉の基礎概念と現代社会について学習する。	0
2	社会福祉の歴史と変遷	社会福祉の歴史とその移り変わりについて、我が国と諸外国のあらましを学習する	0
3	社会福祉をめぐる近年の動向	高齢化・少子化の進展と時代の変化に対応した法律や制度の改正について学習する。	0
4	社会福祉基礎構造改革とノーマライゼーション	ノーマライゼーションやリハビリテーション理念の浸透や現代社会に影響を与えている社会福祉理論について学習する。	0
5	子ども家庭福祉の現状と課題	次世代育成や子育て支援・少子化対策など子供家庭福祉の現状と課題について学習する。	0
6	高齢者福祉の現状と課題	介護保険やさまざまな高齢者福祉サービスについて理解を深める。	0
7	障害者福祉の現状と課題	障害児者の福祉について、我が国の障害者施策や、ソーシャルインクルージョンの考え方を理解し、今後の障害者福祉を展望する。	0
8	地域福祉の現状と課題	地域の住民福祉の現状や社会福祉協議会の活動を学び、日常生活支援事業など地域の新しい支え合いについて学習する。	0
9	社会福祉サービス利用者の権利擁護	社会的に弱い立場にある人の人権を守る制度や思想について、また非暴力の支援理論であるジェントルティーチングを学習する。	0
10	社会福祉の行政組織と関係機関	社会福祉を担う行政組織や関係機関の役割や業務の内容について学習する。	0
11	社会福祉サービスの担い手	社会福祉サービスを担う専門職や従事者の現状と業務の内容について学習する。	0
12	社会福祉援助技術と援助の原則	社会福祉サービスを実施する理論や方法と基本的な原則について学習する。	0
13	社会福祉施設等の社会資源	社会福祉サービスを実際に行う施設や地域の社会資源、ネットワークについて学習する	0
14	社会福祉専門職の倫理と行動規範	社会福祉専門職の諸団体における倫理綱領等を通して求められる援助者の態度や理念について学ぶ。	0
15	まとめ	社会福祉の理念や制度についてまとめを行い、人間の地域生活や支えあうコミュニティのあり方を考える。	0

科目名	障害者福祉特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	村田 清		
開講期	前期		
授業概要	<p>〔授業の目的・ねらい〕 障害者福祉制度は大きく変わりつつあります。ノーマライゼーションなどの理念に基づいた変化の内容と、障害者総合福祉法など新しい制度やシステムを学び、一人ひとりをかけがえのない存在として尊重し、生活を支える障害者の支援の実施を理解します。ジェントルティーチングやティーチプログラムといった援助理論についても研究を深めます。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 講義資料に基づいて研究します。関連文献や映像に触れて理解を深め、障害者福祉の現状や課題についてともに考察します。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 障害者の生活実態を理解し、ともに生きる社会の実現についての考え方をまとめます。</p>		
達成目標	<p>〔授業の目的・ねらい〕 障害者福祉制度は大きく変わりつつあります。ノーマライゼーションなどの理念に基づいた変化の内容と、障害者総合福祉法など新しい制度やシステムを学び、一人ひとりをかけがえのない存在として尊重し、生活を支える障害者の支援の実施を理解します。ジェントルティーチングやティーチプログラムといった援助理論についても研究を深めます。</p> <p>〔授業全体の内容の概要〕 講義資料に基づいて研究します。関連文献や映像に触れて理解を深め、障害者福祉の現状や課題についてともに考察します。</p> <p>〔授業修了時の達成課題（到達目標）〕 障害者の生活実態を理解し、ともに生きる社会の実現についての考え方をまとめます。</p>		
受講資格	大学院 1年生	成績評価 方法	学習態度・意欲（50）、レポート（50）など総合的に評価します。
教科書	特に使用しない		
参考書	国民の福祉と介護の動向		
学生への要望	意欲ある学習態度をもって、ノートを取り、問題意識をもって研究を深める。		
オフィスタイム	火曜日 授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	オリエンテーション、障害者福祉の視点	授業についてオリエンテーション。現代社会と障がい者、障がい者親や障がい者と家族及び地域社会など、障がい者福祉の視点について学ぶ。	0
2	障害者福祉の歴史と新たな展開	諸外国や我が国の障がい者福祉のあゆみと、障がい者福祉の新たな展開について学習する。	0
3	障害者福祉の基本的理念	現代における障がい者福祉の基本理念について、ノーマライゼーション、リハビリテーション、ソーシャルインクルージョンなどさまざまな理論を通して学習する。	0
4	障害者福祉における支援の実践	障がい者支援の実践について、ソーシャルワークのさまざまなアプローチやエンパワーメントの視点、ジェントルティーチングに基づく実践について学習する。	0
5	障害の概念と定義	障がいの概念や定義、社会における障がい者の理解や受け止め方について、法的な定義や国際的な障がい分類を通して学習する。	0
6	障害者の生活ニーズや支援の視点	障がい者の様々な特性や生活ニーズを理解し、社会福祉の援助方法や理論、援助活動の実践について、学習する。	0
7	障害者福祉に関する法体系及び障害者施策	我が国の障がい者福祉の法体系やさまざまな障がい者施策及び実施期間について学習する。	0
8	障害者福祉のサービス体系	障がい者自立支援法の制定から障がい者総合支援法への改正など法体系の変遷と福祉サービスの内容について学習する。	0
9	障害者の生活保障	障がい者の生活を支える経済的な支援制度や雇用や教育の課題について学習する。	0
10	障害者福祉にかかわる専門職	社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、保育士等の専門職のソーシャルワークやケアワークの等の業務について学び、障害者支援に係る専門職の役割や実際	0
11	障害者ケアマネジメントとケアプラン	さまざまな障がい者のケアマネジメントにおける方法や展開過程を学び、障がい者の個別支援計画や援助の実践について理解を深める。	0
12	障害者の社会参加と文化・スポーツ	障がい者の文化、スポーツや福祉レクリエーションへの参加や社会的活動の現状について理解する。	0
13	障害者の権利擁護	成年後見制度や日常生活支援事業、苦情解決制度、運営適正化委員会等、障がい者の権利を守る制度やシステムについて学ぶ。	0
14	障害者支援の事例研究	事例を通して障害者支援の実際を学ぶ。	0
15	まとめ	障害者福祉の課題と今後の方向についてまとめを行う。	0

科目名	科学的衣生活特論	対象 単位数 必修	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 必修
担当教員	武井 玲子		
開講期	前期		
授業概要	ヒトと被服、それらを取り巻く環境とから成り立っている衣生活を対象として、現在のトピックスを取り上げ、総合科学や生活者視点から問題点や今後の課題を考察する。また、企業における企画開発や研究開発部門での勤務経験を活かして、家庭用品の安全性の考え方などの講義を行う。実務経歴：衣食住生活関連の家庭用品製造販売企業において、企画開発や研究開発、安全性評価や技術広報活動を担当。		
達成目標	衣生活に係わる諸問題に対して、総合科学的視点および生活者視点に立ち解決することができる。 また、安全・安心・環境負荷低減を目指した衣生活を築くことができる。		
受講資格	特になし	成績評価 方法	①課題レポート：30点 ②期末レポート：70点
教科書	配布資料に基づいて授業を進める		
参考書	N02被服学研究室所蔵図書		
学生への要望	日常の生活の中で、衣生活（被服と人間、それを取り巻く環境）に関する動向や情報に関心を持ち、問題意識を持つこと。		
オフィスタイム	火曜日（Ⅱ時限）：N02被服学研究室 水曜日（全日）：N02被服学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	ガイダンス	①シラバスにしたがって、本講義の概要や目標、進め方や評価方法などについて説明する。 ②講義の事前学習や事後学習の必要性を説明する。	本日の授業内容をまとめ、問題点をピックアップする。
2	被服着用目的と被服の機能	被服の着用目的と機能は、時代、社会、文化の変遷に伴いながら変化する。被服の起源や被服の着用目的の変遷を学び、現在の衣生活について問題点を抽出する。特に、被服着用の主要な3つの目的（①生理物理的、②心理的、③社会的・文化的、の変化を価値観・意識の変化の視点から考察し、今後の衣生活を展望する。	配布資料を参考としながら、本日の講義の復習をする。自分自身の衣生活における問題点を抽出し、次回発表の準備をする。
3	被服の素材の種類と特徴	被服を構成する素材（繊維、糸、布）の種類と特徴を、被服に必要な機能との関連で理解を深める。さらに、年々進歩している新機能素材の例や素材の染色と加工について、映像や実物を観察しながら理解を深める。	配布資料を参考としながら、本日の講義の復習をする。また、自分自身の被服の素材を確認する。
4	被服の選択・購入の現状（市場調査）	被服を選択・購入する際に参考とする被服の表示（素材、取扱絵表示、サイズ、デメリット表示など）についてその種類を調べ、生活者視点での問題点（わかりやすさや見やすさ、など）と課題を考える。また、市場調査を実施して理解を深める。	配布資料を参考としながら、本日の講義の復習をする。また、市場調査の結果をレポートにまとめる。
5	被服の着用による問題点と課題	被服の着用方法の変化、被服着用による汚れの種類と付着メカニズムを科学的に理解する。	配布資料を参考としながら、本日の講義の復習をする。また、自分自身の着用時の問題点をピックアップする。
6	被服の洗濯・手入れ方法とそのメカニズム（市場調査）	被服に付着した汚れの除去方法について、素材・形・染色などの被洗物の特徴に応じた適切な方法を理解する。家庭およびクリーニング店での汚れの除去方法の特徴と違いや家庭洗濯に用いられる市販洗剤の種類と特徴、使用方法、表示の見方などを調べ、生活者視点から問題点を抽出する。また、市場調査を実施して理解を深める。	配布資料を参考としながら、本日の講義を復習する。自宅にある洗剤類や洗濯機の種類を調査確認する。また、市場調査の結果をレポートにまとめる。
7	被服の保管の問題点と課題（市場調査）	現在の被服の保管実態を調査し、問題点・課題を抽出する。市販されている防虫剤の種類と特徴を把握し、現時点での望ましい保管方法をまとめる。また、防虫剤については市場調査で実際の商品を見て理解を深める。	配布資料を参考としながら、本日の講義を復習する。また、自分自身の衣服の保管実態を把握する。
8	衣生活と環境（1）	生活者が衣生活の一貫として実践している被服の選択・購入、着用、手入れ・保管、廃棄という被服のライフサイクルにおいて、エネルギーと資源の消費（インプット）、炭酸ガスや廃棄物の排出（アウトプット）を評価するライフサイクルアセスメント（LCA）の考え方に基づいて、衣生活における環境負荷を考察する。	配布資料を参考としながら、本日の講義を復習する。また、自分自身の衣生活をLCA的に見た場合の問題点を考察する。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
9	衣生活と環境（2）	洗剤を例として、その使用による環境負荷影響の歴史の変遷を知る。衣生活を営むことに伴う地球環境負荷影響を理解し、より環境負荷低減をめざした生活とはどのような生活であるかを考察する。	配布資料を参考としながら、本日の講義を復習する。次回のテーマとする自分自身の被服の実態調査を行う。	120
10	衣生活と環境（3）	被服の死蔵（1年間着用していない状態）実態調査や被服の廃棄実態調査結果を参考として、環境に配慮した衣生活を5R（Reduction, Reuse, Recycle, Repair, Remake）の視点から考察し、今後の課題を抽出する。	配布資料を参考としながら、本日の講義を復習する。自分自身の衣生活実態の問題点をピックアップし、よりよい方法を考え、レポートにまとめる。	60
11	衣生活と環境（4）	衣生活において必要とされる水資源（植物繊維の成長、染色、洗濯水）について、地球上での循環、汚濁と規制、使用実態、上水・下水処理場の役割、などを調査し、理解を深める。	配布資料を参考としながら、本日の講義を復習する。	60
12	事例研究（1）	被服の事例として、生理用ナプキンを取り上げ、その構造と種類、機能について実験的に学び、生活者視点、環境負荷低減の視点から生理用ナプキンの望ましい使用方法について考察する。	配布資料を参考としながら、本日の講義を復習する。	60
13	事例研究（2）	衣生活環境を中心とした香りとニオイについて、その発生原因と対策、問題点について考察する。期末レポートの課題を提示する。	配布資料を参考としながら、本日の講義を復習する。期末レポート対応を実施する。	120
14	衣生活と安全性	安全と安心の考え方を学び、現在の衣生活における安全性問題を抽出し、その解決方法と課題を考える。	配布資料を参考としながら、本日の講義を復習する。期末レポート対応を実施する。	120
15	まとめ	衣生活を巡る消費者問題、環境問題を振り返り、これらの問題は衣生活に限らず生活全般に共通する問題であること、生活者視点での考察が重要であることを理解する。	配布資料を参考としながら、本日の講義を復習する。	60

科目名	科学的衣生活演習	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	難波 めぐみ		
開講期	後期		
授業概要	<p>[授業の目的・ねらい] 昨今の衣生活がおかれている現状を、研究論文や文献調査から問題点や課題の抽出をおこなう。専門分野の理解の深化と、高い研究遂行能力の育成を目指す。</p> <p>[授業全体の内容の概要] 衣生活の歴史と学問領域について、衣生活分野での研究テーマの選定方法と課題、衣生活がこれからの生活の中で果たす役割などについて学ぶとともに、研究論文の作成方法などを習得する。</p>		
達成目標	<p>[到達目標] ①衣生活分野の学問領域について理解する。 ②先行研究から課題を抽出し、衣生活の研究の理解と深化する。 ③衣生活における研究テーマの選定方法を理解し、新たな学問探求ができるようにする。</p>		
受講資格	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。 ・家庭科専修免許を取得希望する場合は必修。 	成績評価 方法	①授業態度 30% ②課題（発表、提出物）30% ③理解度（レポート、テストなど）40% ①③の総合評価60点以上で合格とする。
教科書	授業毎に配布する。その配布資料に基づいて授業を進める。		
参考書	随時提示。		
学生への要望	日常生活の中で衣生活に興味や関心を持ち、探究心をもってより良い衣生活の提案ができるような学びとなるよう、積極的な姿勢で取り組むことを心掛けて欲しい。		
オフィスタイム	水曜日Ⅳ、金曜日Ⅲ 場所：家政学館4F 被服学研究室。不在の場合もありますので、授業終了後確認してください。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容	
1	ガイダンス	本授業の概要及び演習内容の提示。	シラバスで授業内容を確認する	90
2	衣生活の歴史と学問領域	今日に至るまでの衣生活の変遷と、学問領域について学ぶ。	近年の衣生活研究について調査する	90
3	衣生活（和服）の歴史	衣生活を理解する上で重要な日本の和服の歴史を学び、現在の衣生活の問題を考える。	日本服装史を読む	90
4	衣生活（洋服）の歴史	現在の衣生活を理解する上で洋装の変遷は重要である。西洋の歴史から日本への洋装の流れを学び、衣生活の問題を考える。	西洋服装史を読む	90
5	環境と衣生活、安心・安全な衣生活について	衣生活は環境、そして、安全面を切り離して考えることは出来ない重要な生活である。第6回以降の研究の方法を学ぶために、衣生活の基本的知識の修得を図る。	安全と衣生活の研究を調べる	90
6	研究の方法について	前回までの学修した内容をもとに、日本家政学会、日本服飾文化学会等の先行研究を理解し、衣生活分野での論文作成手法を理解する。	先行研究の調査方法を理解する	90
7	研究の方法について	第6回に引き続き、先行研究調査をもとに、衣生活の問題点の抽出方法及び分析方法を学ぶ。	興味ある分野の先行研究を集める	90
8	研究の方法について	前回到続き、先行研究の調査及び問題点の抽出から、現在の衣生活の問題点を明らかとしていく。	興味ある分野の先行研究を集める	90
9	研究の方法について	3回に渡って調査してきた内容をもとに、各自の衣生活をキーワードとして、次週の発表内容を作成する。	興味ある分野の先行研究を集める	90
10	研究の方法について	先行研究調査からえられた研究の手法を取り入れて、衣生活をキーワードに発表を行う。研究手法としての評価を討論する。	興味ある分野の先行研究を集め、発表原稿を作成する	90
11	衣生活の今日的なテーマと研究方法について	最新の衣生活の課題と研究の方法を学ぶ。	最新課題を抽出しまとめる	90
12	衣生活のこれからのを考える	衣生活の果たす役割を考える。	衣生活の役割を理解する	90
13	研究への応用及び研究計画の作成方法	これまでの学修から、可能とされる研究内容を選出し、研究計画、計画の妥当性等評価する。また、研究計画の作成方法を学ぶ。	研究計画を立てる	90
14	まとめ（1）	これまでの演習で修得した内容を元に、レポートの制作に取り組む。	レポートの製作	90
15	まとめ（2）	レポートの提出内容確認。プレゼン及び討論。本講座の総括をおこなう。	レポートの製作	90

科目名	科学的衣生活実験	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 1単位 選択/大学院 人間生活学研究科修士課程 2年 1単位 選択	
担当教員	武井 玲子			
開講期	前期			
授業概要	衣生活に関する調査研究や実験研究の理念と適正な企画方法を学ぶ。研究対象としては、代表的な先行研究を数種選択し、モデル試行する。さらに、結果の解析・検討を実施した結果に基づき、テーマを探索し研究を試行する。研究結果を論文にまとめることにより、実験研究の進め方の理解を深める。また、企業における企画開発や研究開発部門での勤務経験を活かし、研究方法や論文の書き方などを適切に指導する。実務経歴：衣食住生活関連の家庭用品製造販売企業において、企画開発や研究開発、安全性評価や技術広報活動を担当。			
達成目標	調査研究（実験研究）をデザインし、調査あるいは実験を推進し、得られたデータを解析・評価し、これらをレポート（投稿論文）にまとめることができる。			
受講資格	特になし	成績評価 方法	授業態度：30点 期末レポート：70点	
教科書	必要に応じた参考資料を配布する。			
参考書	日本家政学会誌、日本繊維製品消費科学会誌、ほか関連学会誌			
学生への要望	平日頃から、問題意識と探究心を持ち、関連論文を多数読み込み、質の良い論文を見分ける能力を養うこと。			
オフィスタイトム	火曜日（Ⅱ時限）：N○2被服学研究室 水曜日（全日）：N○2被服学研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
1	ガイダンス	本授業の概要や目標、講義の進め方や評価方法などを説明する。	本日の授業内容をまとめ、問題点をピックアップする。	60
2	ガイダンス	本授業の概要や目標、講義の進め方や評価方法などを説明する。	本日の授業内容をまとめ、問題点をピックアップする。	60
3	日本家政学会誌調査（1）	日本家政学会誌に掲載されている論文を選択し、読み合わせをする。実験方法や実験結果、考察などを読み込み、実験研究のデザインや進め方を理解する。	選択した論文を再度読み、不明点などをピックアップする。	60
4	日本家政学会誌調査（1）	日本家政学会誌に掲載されている論文を選択し、読み合わせをする。実験方法や実験結果、考察などを読み込み、実験研究のデザインや進め方を理解する。	選択した論文を再度読み、不明点などをピックアップする。	60
5	日本家政学会誌調査（2）	日本家政学会誌に掲載されている論文を選択し、読み合わせをする。調査方法や調査結果、考察などを読み込み、調査研究のデザインや進め方を理解する。	選択した論文を再度読み、不明点などをピックアップする。	60
6	日本家政学会誌調査（2）	日本家政学会誌に掲載されている論文を選択し、読み合わせをする。調査方法や調査結果、考察などを読み込み、調査研究のデザインや進め方を理解する。	選択した論文を再度読み、不明点などをピックアップする。	60
7	日本繊維製品消費科学会誌調査（1）	日本繊維製品消費科学会誌に掲載されている論文を選択し、読み合わせをする。調査方法や調査結果、考察などを読み込み、調査研究のデザインや進め方を理解する。	選択した論文を再度読み、不明点などをピックアップする。	60
8	日本繊維製品消費科学会誌調査（1）	日本繊維製品消費科学会誌に掲載されている論文を選択し、読み合わせをする。調査方法や調査結果、考察などを読み込み、調査研究のデザインや進め方を理解する。	選択した論文を再度読み、不明点などをピックアップする。	60
9	日本繊維製品消費科学会誌調査（2）	日本繊維製品消費科学会誌に掲載されている論文を選択し、読み合わせをする。調査方法や調査結果、考察などを読み込み、調査研究のデザインや進め方を理解する。	選択した論文を再度読み、不明点などをピックアップする。	60
10	日本繊維製品消費科学会誌調査（2）	日本繊維製品消費科学会誌に掲載されている論文を選択し、読み合わせをする。調査方法や調査結果、考察などを読み込み、調査研究のデザインや進め方を理解する。	選択した論文を再度読み、不明点などをピックアップする。	60
11	調査（実験）研究のテーマの選択	テーマの選定をする。	テーマの選定を考える。	60
12	調査（実験）研究のテーマの選択	テーマの選定をする。	テーマの選定を考える。	60
13	調査（実験研究）のテーマの選択	テーマの選定をする。	テーマの選定を考える。	60
14	調査（実験研究）のテーマの選択	テーマの選定をする。	テーマの選定を考える。	60
15	調査（実験）研究のデザイン・進め方	テーマにそった調査（実験）研究の企画デザインを作成する。	関連論文の文献調査を実施する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
16	調査(実験)研究のデザイン・進め方	テーマにそった調査(実験)研究の企画デザインを作成する。	関連論文の文献調査を実施する。	60
17	調査(実験)研究のデザイン・進め方	テーマにそった調査(実験)研究の企画デザインを作成する。	関連論文の文献調査を実施する。	60
18	調査(実験)研究のデザイン・進め方	テーマにそった調査(実験)研究の企画デザインを作成する。	関連論文の文献調査を実施する。	60
19	調査(実験)研究の推進	調査(研究)を実施し、結果を求める。	選択したテーマにそって調査研究を進める。	60
20	調査(実験)研究の推進	調査(研究)を実施し、結果を求める。	選択したテーマにそって調査研究を進める。	60
21	調査(実験)研究の推進	調査(研究)を実施し、結果を求める。	選択したテーマにそって調査研究を進める。	60
22	調査(実験)研究の推進	調査(研究)を実施し、結果を求める。	選択したテーマにそって調査研究を進める。	60
23	調査(実験)研究の推進	調査(研究)を実施し、結果を求める。	選択したテーマにそって調査研究を進める。	60
24	調査(実験)研究の推進	調査(研究)を実施し、結果を求める。	選択したテーマにそって調査研究を進める。	60
25	結果の考察	結果を解析し、考察する。	結果を考察し、投稿原稿にまとめる。	60
26	結果の考察	結果を解析し、考察する。	結果を考察し、投稿原稿にまとめる。	60
27	レポート作成	レポートを作成する。	結果を考察し、投稿原稿にまとめる。	60
28	レポート作成	レポートを作成する。	結果を考察し、投稿原稿にまとめる。	60
29	レポートの評価, 学会発表, 学会誌投稿方法	投稿論文用のスタイルで論文を書くにあたり, 引用文献の書き方や著作権について理解を深める	自分の論文をチェックし, 問題点・課題を抽出する。	60
30	レポートの評価, 学会発表, 学会誌投稿方法	投稿論文用のスタイルで論文を書くにあたり, 引用文献の書き方や著作権について理解を深める。	自分の論文をチェックし, 問題点・課題を抽出する。	60

科目名	科学的食生活特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 必修
担当教員	鍛野 信子		
開講期	前期		
授業概要	大学の4年間は、管理栄養士、栄養教諭などの資格取得のためのカリキュラムに従って、「食生活の周辺」を「学び、理解して、覚える」ことであった。大学院修士課程においては、「学び、理解して、覚える」からさらに前進し、周知されているテキストレベルの情報を基礎として、各種学術雑誌等の論文や最新情報を読み解く。併せて、日本人の食生活の特徴的な事柄を「食べ物文化史（英語版）」で英文を購読する。		
達成目標	各種学術雑誌等の論文や最新情報を読み解くことにより「食生活の功罪」を科学的側面から「論ずる力」を養うこと、および、英文購読により日本の食生活を海外に伝える力を養うことを目標とする。		
受講資格	大学院修士課程の学生	成績評価 方法	①レポート80% ②英文購読20%
教科書	①「食べ物文化史」：永山久夫監修、(株)優しい食卓(2,381円+消費税) ②資料を配布する。		
参考書	授業内で案内する。		
学生への要望	①日々の生活の中で、常に食品に関心を持ってください。 ②食文化などにも関心を持ってください。 ③客観的な立場で考える力を身に付けてください。		
オフィスタイム	木曜日3時限および金曜日3時限のNo.1食品学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容
1	導入：授業の目的	導入として、大学院修士課程においては、「学び、理解して、覚える」からさらに前進し、周知されているテキストレベルの情報を基礎として、各種学術雑誌等の論文や最新情報を読み解き、「食生活の功罪」を科学的側面から「論ずる力」を養うことを目標とすることを理解する。	復習：授業内容について自分の考えを整理してください。
2	論文購読①	食の情報誌等に掲載の論文等について、最新情報を読み解き討論する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。
3	論文購読②	食の情報誌等に掲載の論文等について、最新情報を読み解き討論する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。復習：授業内容について自分の考えを整理してください。
4	「縄文時代」と「弥生・古墳・飛鳥時代」の食生活	「縄文時代」と「弥生・古墳・飛鳥時代」の食生活について、英文購読し、日本の食生活を海外に伝える力を養う。	予習：テキストの事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。
5	論文購読③	食の情報誌等に掲載の論文等について、最新情報を読み解き討論する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。
6	「奈良時代」と「平安時代」の食生活	「奈良時代」と「平安時代」の食生活について、英文購読し、日本の食生活を海外に伝える力を養う。	予習：テキストの事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。
7	論文購読④	食の情報誌等に掲載の論文等について、最新情報を読み解き討論する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。復習：授業内容について自分の考えを整理してください。
8	「鎌倉時代」と「室町・安土桃山時代」の食生活	「鎌倉時代」と「室町・安土桃山時代」の食生活について、英文購読し、日本の食生活を海外に伝える力を養う。	予習：テキストの事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。
9	論文購読⑤	食の情報誌等に掲載の論文等について、最新情報を読み解き討論する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。復習：授業内容について自分の考えを整理してください。
10	「江戸時代」と「明治・大正時代」の食生活	「江戸時代」と「明治・大正時代」の食生活について、英文購読し、日本の食生活を海外に伝える力を養う。	予習：テキストの事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。
11	論文購読⑥	食の情報誌等に掲載の論文等について、最新情報を読み解き討論する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。復習：授業内容について自分の考えを整理してください。

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
12	「昭和時代」の食生活	「昭和時代」の食生活について、英文講読し、日本の食生活を海外に伝える力を養う。	予習：テキストの事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。	60
13	論文購読⑦	食の情報誌等に掲載の論文等について、最新情報を読み解き討論する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。復習：授業内容について自分の考えを整理してください。	60
14	論文購読⑧	食の情報誌等に掲載の論文等について、最新情報を読み解き討論する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。	60
15	まとめ	2回～14回までの内容について討論を行う。	予習：2回～14回までの授業内容について確認してきてください。 復習：2回～14回までの授業内容について自分の考えを整理してください。	60

科目名	科学的食生活演習	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	高橋 徹		
開講期	後期		
授業概要	きのこ、油脂、甘味料、エゴマ、お茶、牛乳、魚など身近な食品の機能性を中心に説明する。また院生自ら食生活に関連した雑誌等を読み、プレゼンテーションを行う能力を身につける。		
達成目標	きのこ、油脂、甘味料、エゴマ、お茶、牛乳、魚など身近な食品の機能性を中心に説明する。また院生自ら食生活に関連した雑誌等を読み、プレゼンテーションを行う能力を身につける。		
受講資格	大学院修士課程 1年	成績評価 方法	出席時間が開講時間の2/3以上で、授業の討議態度（20%）ならびにレポート（80%）で評価する。
教科書	資料を配布する。		
参考書	その都度紹介する。		
学生への要望	日頃、食物や栄養に関心を持つこと。		
オフィスタイム	木曜日		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	きのこの栄養価と機能性	きのこの栄養成分の特徴と機能性について解説する。	0
2	食、毒きのこの見分け方、きのこの毒成分について	秋になるときのこ中毒が新聞をにぎわします。そのほとんどはクサウラベニタケ、ツキヨタケ、カキシメジの3種のきのこにより引き起こされます。これらきのこの見分け方や間違いやすい食用きのこの違いについて解説しさらに毒成分について説明する。	0
3	油脂の性質と脂肪酸について	油脂の化学的性質や栄養的に大事な脂肪酸について解説する。	0
4	油脂の劣化とその防止法について	油脂の劣化の要因とその防止法について解説する。	0
5	砂糖ならびに新甘味料の性質について	砂糖ならびに砂糖に変わる甘味料の功罪について考える。	0
6	大豆の食文化と機能性	日本人が大豆をいかにうまく食生活に取り入れてきたか、大豆パワーと機能性について学ぶ。また、大豆を利用した発酵食品の機能性についても学ぶ。	0
7	エゴマの成分と機能性	エゴマ油は日本人に不足しがちな、 α -リノレン酸を多量に含み、リノール酸の取りすぎによる弊害を防ぐ油として注目されている。エゴマは油だけでなく種子や葉にも機能性成分を含む。これらの成分の特徴とその利用法について解説する。	0
8	野菜の機能性	野菜はビタミンやミネラルの給源として欠く事の出来ないものですが、食物繊維の給源としても大事な食品です。野菜類のもつ機能性についてまとめてみる。	0
9	お茶の機能性	毎日飲むお茶は心の安らぎを与えるだけでなく、お茶を飲むことにより健康に寄与する部分が多い、お茶に含まれる多くの機能性成分について学ぶ。	0
10	牛乳・乳製品の機能性について	牛乳・乳製品の持つ機能性について考える。	0
11	魚介類の機能性	日本人は多くの魚介類を毎日の食卓にあげてきており、「魚を食べると頭がよくなる」と言った言葉も聞かれる。魚の持つ健康によい物質は何か、本当に頭がよくなるのかなど考えてみたい。	0
12	発酵食品の機能性	日本人は多くの発酵食品を食生活に取り入れてきた。発酵食品の製造法と機能性について学ぶ	0
13	食品の機能性についてのまとめ	12回までの授業を振り返り、食品の持つ機能性についてまとめる。	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
14	食生活に関連した発表	食生活に関連したトピックスについて院生自らが発表する。	0
15	食生活に関連した発表	食生活に関連したトピックスについて院生自らが発表する。	0

科目名	科学的食生活実験	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学 研究科修士課程 1年 1単位 選択/大学院 人間生活学 研究科修士課程 2年 1単位 選択
担当教員	鍛野 信子		
開講期	前期		
授業概要	2011年の福島原発の事故により、県内には多量の放射性セシウムが飛散した。特に山菜やきのこは除染の困難な山林に生えることが多いことから、いまだ放射性セシウム濃度が高いものが多い。そこで、原発事故から7年を経た福島県山菜、きのこの放射性セシウム濃度の測定を行い、放射能汚染の現状を把握する。合わせて、調理による汚染の低減について検討を行う。また、山菜やきのこは誤食による食中毒も多いことから、野外での採取を通して鑑別の方法についても学ぶ。さらに、山菜、きのこの脂肪酸組成の分析を行う。		
達成目標	山菜、きのこの放射性セシウムの分析を通し、原発事故から7年を経た福島県の放射能汚染の現状を把握する。特に同一種でも、汚染の高い地域と低い地域でどの程度の違いがあるかを分析データで確認する。また、同一地域に生えるものでも、山菜やきのこの種類によりセシウムの濃度に差があることを分析データで確認する。さらに、山菜やきのこに見られる特殊な脂肪酸が、分類群とどのような関係があるかを把握する。		
受講資格	修士課程の学生で科学的食生活演習を履修済みであることが望ましい。	成績評価 方法	授業に出席した際の実験への取り組み態度（30%）と実験の結果をまとめたレポート（70%）で評価する。
教科書	特になし。		
参考書	その都度紹介する。		
学生への要望	食品の放射性物質について関心を持っていただきたい。		
オフィスタイム	火曜日授業終了後。		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	山菜の見分け方と放射性物質の測定	山菜の中には携帯の類似している毒草もあるので、注意すべき山菜の特徴を学ぶ。また、山菜の放射性セシウム濃度について、2011年度より文献的な検索を行う。	0
2	山菜の放射性物質の測定	郡山周辺で採取した山菜の放射性セシウム濃度の分析を行う。	0
3	山菜の放射性物質の測定	ひき続き、郡山市周辺で採取した山菜の放射性セシウム濃度の分析を行う。	0
4	山菜の放射性物質の測定	ひき続き、郡山市周辺で採取した山菜の放射性セシウム濃度の分析を行う。特に、山菜の部位別の放射性セシウム濃度の違いを調べる。	0
5	山菜の放射性物質の測定	ひき続き、郡山市周辺で採取した山菜の放射性セシウム濃度の分析を行う。一部調理による山菜の部位別の放射性セシウム濃度の変化について調べる。	0
6	タケノコの部位別の放射性物質の測定	タケノコは部位により放射性セシウム濃度が異なることが知られている。この確認を行うとともに、アク抜き処理によるタケノコの放射性セシウム濃度の変化について調べる。	0
7	山菜の脂肪酸組成の分析	山菜と呼ばれるものには各種の植物がある。これら山菜の脂肪酸組成の分析を行い、山菜の部位や種類による脂肪酸組成の特徴を調べる。	0
8	山菜の脂肪酸組成の分析	山菜と呼ばれるものには各種の植物がある。これら山菜の脂肪酸組成の分析を行い、山菜の部位や種類による脂肪酸組成の特徴を調べる。	0
9	野菜、果物の放射性物質の測定	直売所等で売られている福島産の野菜、果物の放射性物質を測定し、山菜きのこと比較する。	0
10	きのこの放射性物質の測定	きのこは放射性セシウムを吸収しやすい生物とされている。しかしきのこの種類により異なることも報告されている。そこで野生きのこの放射性セシウム濃度の測定を行う。	0
11	野生きのこの放射性物質の測定	郡山市周辺で採取した野生きのこの放射性セシウム濃度の測定を行う。	0
12	野生きのこの放射性物質の測定	郡山市周辺で採取した野生きのこの放射性セシウム濃度の測定を行う。一部調理による放射性セシウムの変化について検討する。	0
13	きのこの脂肪酸組成の測定	きのこには通常の動植物には見られない特殊な脂肪酸を含むものがあるので、これらの脂肪酸をガスクロマトグラフィーやGC-MSで分析し構造を調べる。	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
14	食・毒きのこの見分け方	野外できのこを採取し、食・毒きのこの見分け方について学ぶ。		0
15	山菜、きのこの放射性物質測定まとめ	実験のまとめとレポートの作成		0

科目名	食品衛生学特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	未定		
開講期	後期		
授業概要	食品による危害が人の健康障害の原因となっている。健康障害には食物アレルギーや食中毒の様な急性障害と、発がんなどの慢性障害が種々の疾病統計上の上位に位置している。食品衛生学特論では食品の危害因子を微生物学、化学、放射線科学の基礎知識と人体の生化学的反応から、疾病に至る経緯を中毒学的に学ぶ。		
達成目標	食品による危害が人の健康障害の原因となっている。健康障害には食物アレルギーや食中毒の様な急性障害と、発がんなどの慢性障害が種々の疾病統計上の上位に位置している。食品衛生学特論では食品の危害因子を微生物学、化学、放射線科学の基礎知識と人体の生化学的反応から、疾病に至る経緯を中毒学的に学ぶ。		
受講資格	なし	成績評価 方法	レポート100点
教科書	資料配布		
参考書	「食安全の科学」菅家祐輔・坂本義彦、三共出版、印刷資料		
学生への要望	食品の安全性に関する学問は自らの健康生活にも役立つものである。知った知識や考え方をより検討して、食の安全性を進めてもらいた		
オフィスタイム	授業開始前 授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	食品中の毒素の挙動	食物連鎖による毒素の濃縮、脂溶性毒素の生物濃縮、毒素の生体内分布・解毒機構・毒素の水溶性増加によるの排泄	0
2	毒素のリスクアナリシス	一般毒性、特に急性毒性と亜急性・慢性毒性、投与経路の違いによる毒性強度の変化 化学物質の用量と生体の反応曲線： NOAEL, NOEL, ADI, TDI, 閾値、最小中毒量、最小致死量、LD50 (mg/kg)	0
3	急性毒作用-1：食物アレルギー	血液幹細胞とT細胞、B細胞、マクロファージ、血小板、赤血球などの分化 免疫メカニズム：胸腺とT細胞、T細胞とB細胞、イムノグロブリン IgEと肥満細胞 アレルギー：アレルギーとハプテン 食物抗原：アレルギーとしてのタンパク質の性質 アレルギー症状やアナフラキシー	0
4	急性毒作用-2：細菌性食中毒	毒素型食中毒の細菌毒素の性状や作用機序：ボツリヌス菌、黄色ブドウ球菌、セレウス菌 感染毒素型食中毒の細菌毒素の性状や作用機序：腸炎ビブリオ、ウェルシュ菌、腸管出血性大腸菌、コレラ菌	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
5	急性毒作用-3：自然毒	自然毒（動物由来）：ふぐ毒テトロドトキシンの作用機構、シガテラのマイトトキシンの作用機構、貝毒のサキシトキシンによる麻痺性貝毒やゴニオトキシンによる下痢性貝毒 自然毒（植物由来）：野菜アルカロイドや豆類の青酸配糖体、山野草の神経毒性化合物、きのこ毒	0
6	慢性毒作用-1：農薬	日本の農薬取締法と農薬の取り扱い方、農薬の人体影響 残留農薬と1日許容摂取量（ADI）、ポジティブリスト制度	0
7	慢性毒作用-2：抗生物質	抗生物質：動物用医薬品と飼料添加物 抗生物質の食品残留による影響：薬剤耐性菌 薬剤耐性機構	0
8	変異原と発がん性	発がんメカニズム：イニシエーション、プロモーション、プログレッション 変異原性物質や発がん性物質の探索方法：変異原性試験や遺伝毒性試験、染色体異常試験、小核試験、コメットアッセイ、長期発がん試験などについて	0
9	食品と発がん	食品中の発がん前駆物質：亜硝酸によるN-ニトロ化合物やプロモーター 穀類のカビ汚染による発がん性マイコトキシン：アフラトキシンB1、ルテオスカイリンなど 食品成分から生成する発がん性物質：高度不飽和脂肪酸の過酸化脂質、アミノ酸や糖の熱分解物 食品残留性の多感芳香族化合物の酸化体など	0
10	食品添加物	指定添加物と既存添加物 食品添加物のLD50値 食品添加物の推定摂取量：マーケットバスケット方式など 既存添加物から削除されたアカネ色素 食品添加物と医薬品や農薬との違い	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
11	活性酸素と過酸化脂質	活性酸素の発生と分解酵素、ラジカルと非ラジカル 生体による活性酸素の生成と分解 過酸化脂質とオータコイド：シクロオキシゲナーゼとアスピリン	0
12	食品と放射能	放射能の単位 食品への放射線照射と必要な線量 人体に対する放射線の影響	0
13	遺伝子組み換え食品と牛海綿状脳症	細菌による殺虫タンパク質のDNAを作物の遺伝子に組み込んだ遺伝子操作作物 非選択的除草を大量に散布した土壌で大増殖した細菌の農業分解核外遺伝子（プラスミド）を作物の遺伝子に組み込んだ遺伝子操作作物 これらの原理と人体毒性に関する問題点と対策方法：大量に輸入されている遺伝子操作大豆はどこへ行ったのか 遺伝子操作作物使用の表示義務について	0
14	HACCP	HA + CCP 危害分析と監視の原理：食品原材料はその食品を危害する微生物などによって汚染されていると前提にする。その危害を完全に除去する方法を必ず食品加工工程に入れる。 クラス：クラスA食品は免疫弱者のための食品、危害の多い食品はクラスB（生食）～F（食べる前に加熱しない食品）。 カテゴリ：クラスA～Fまでの得点を加算した結果でカテゴリが決まる。カテゴリVIは免疫弱者の食品、カテゴリIは煎餅やインスタントコーヒーなど乾物である。	0
15	特定保健用食品	医薬品と健康機能食品と一般食品の違い：特定保健用食品（個別認可型・規格基準型）・栄養機能食品（規格基準型） 特定保健用食品（疾病リスク低減表示＝医学的・栄養学的に確立している）：Ca（若い女性の骨粗しょう症予防）、葉酸（若い女性の葉酸摂取量と神経閉鎖障害を持つ子供の出生リスクの関係） ヘルシンキ宣言の遵守	0

科目名	調理科学特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択/大学院 人間生活学研究科修士課程 2年 2単位 選択
担当教員	鍛野 信子		
開講期	前期		
授業概要	「調理科学」は、食の分野を多角的に体系化を図る学問である。食品を選択する行為には、加工や調理に加えて、人間の心理や生理、生活や嗜好、その他多くの背景と動機があり、目的にあった確かな食品選択が求められている。ここでは、「調理科学」の中でも心理的要因が問われる「おいしさの科学」について論文や事例により読み解く。併せて、授業開始時（毎回10～15分程度）に食物や栄養についての英文を購読する。		
達成目標	官能評価の事例を読み解くことにより、科学的側面から「おいしさ」について「論ずる力」を養うこと、および、英文購読により食物や栄養について外交人との「コミュニケーションツール」として活用できることを目標とする。		
受講資格	大学院 人間生活学研究科 修士課程専攻生	成績評価 方法	英文購読（20点）とレポート（80点）で100点とします。
教科書	「調理と食品の官能評価」：松本仲子、建帛社 「PRACTICAL ENGLISH FOR DIETITIANS REVISED EDITION」：小川成子、山本厚子、LAURA NIHAN、学研書院(1,188円+税8%)		
参考書	授業内で案内する。		
学生への要望	①日々の生活の中で、常に食品に関心を持ってください。 ②食べ物を五感で味わう習慣をつけてください。 ③食品表示、食器、食空間、食文化などにも関心を持ってください。		
オフィスタイム	木曜日3時限および金曜日3時限のNo.1食品学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	授業の目的	食の業務に携わるためには、種々の食品についての深い知識と、食品の品質を見抜く技能が必要とされる。食品の評価法には、化学的、物理的評価法はもちろんのこと、官能的な評価法があることをまず理解する。「調理科学特論」では、調理や加工に留まることなく、食品の生産、流通、消費のシステムの中で、食品の品質を評価するためのいくつかの方法を解説する。	30
2	事例①：高齢者向けの商品開発と官能評価	高齢者向けの食品開発に当たっては、高齢者の摂食機能を考慮する必要がある。ここでは、口腔の形態と食塊の移動のメカニズムを確認し、高齢者の摂食中の問題点、唾液の性状および食肉の硬さと咀嚼の関係から若年者と高齢者の違いを理解する。	60
3	事例②：コンビニ等向けの商品開発と官能評価	コンビニおよびチェーンストアの店頭に並ぶ弁当、おにぎり、惣菜などは2000種類にも及ぶといわれている。他社との差別化を図った多くの新商品を生み出すために、官能評価は不可欠な手法であることを理解する。	60
4	事例③：飲料を評価する「のどごし感」の測定方法と官能検査	「のどごし感」は、ビール類の嗜好性と高い相関があるといわれている。ここでは、咽頭部表面筋電図周波数解析を用いた「のどごし感」の測定方法の概要を理解する。	60
5	事例④：「味の素」の商品開発と官能評価	「味の素」は日本人が発見した「うま味」によって、この100年間マーケットを世界中の100か国以上に広められ、グローバルな商品となった。官能評価の手法をいち早く実践して商品開発を行ってきた味の素株式会社のたゆまぬ努力を理解する。	60
6	論文購読①	最近の商品開発と官能評価の事例を学術雑誌等からいくつか取り上げ解説する。	60
7	英文購読①	食物や栄養に関する英文購読をする。	60
8	論文購読②	最近の商品開発と官能評価の事例を学術雑誌等からいくつか取り上げ解説する。	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
9	英文購読②	食物や栄養に関する英文を購読する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。	60
10	論文購読③	最近の商品開発と官能評価の事例を学術雑誌等からいくつか取り上げ解説する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。	60
11	英文購読③	食物や栄養に関する英文を購読する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。	60
12	論文購読④	最近の商品開発と官能評価の事例を学術雑誌等からいくつか取り上げ解説する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。	60
13	英文購読④	食物や栄養に関する英文を購読する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。	60
14	論文購読⑤	最近の商品開発と官能評価の事例を学術雑誌等からいくつか取り上げ解説する。	予習：配布した論文の事前学習をしてきてください。 復習：授業内容について自分の考えを整理してください。	60
15	授業の総括	2回から14回の授業内容について討論を行う。	予習：1回目から14回目までの授業内容を確認してきてください。 復習：1回目から15回目までの授業内容について自分の考えを整理してください。	60

科目名	臨床栄養学特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択	
担当教員	大西 弘太郎			
開講期	前期			
授業概要	生活習慣病の成因・治療・予防について栄養学の立場から分析・理解する。とくに心血管疾患に重点をおく。国際誌に掲載されたインパクトの高い英語論文を輪読する。 実務経歴：医療法人・南労会、社会医療法人・西陣健康会、医療法人・郡山病院などでの実務経験をもとに輪読会を行う。実務経験：医師として医療機関に勤務している。			
達成目標	英語原著論の大意を理解できるようになる。			
受講資格	大学院修士課程1年	成績評価 方法	小テスト (20%) レポート (80%)	
教科書	なし			
参考書	なし			
学生への要望	英語論文の輪読を行う。基礎となる英文医学用語の習得に努めること。			
オフィスタイム	木曜日 08:30~12:00、15:00~17:00。 金曜日 08:30~12:00。 臨床医学研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
1	非感染性疾患とその予防	平均寿命と健康寿命 人口動態の変遷 非感染性疾患 (NCD) の概念と位置づけ 高血圧とその予防 高血圧と栄養学	健康寿命、疾病構造、生活習慣病などについて予習・復習をしましょう。	120
2	英文講読 1	Miura K(, Nagai M, Ohkubo T. Epidemiology of hypertension in Japan: where are we now? Circ J. 2013;77:2226-31.	日本における高血圧症の位置付けについて予習・復習をしましょう。	120
3	英文講読 2	Miura K(, Nagai M, Ohkubo T. Epidemiology of hypertension in Japan: where are we now? Circ J. 2013;77:2226-31.	日本における高血圧症の位置付けについて予習・復習をしましょう。	120
4	英文講読 3	Miura K(, Nagai M, Ohkubo T. Epidemiology of hypertension in Japan: where are we now? Circ J. 2013;77:2226-31. Christensen K, et al.	日本における高血圧症の位置付けについて予習・復習をしましょう。	120
5	英文講読 4	Miura K(, Nagai M, Ohkubo T. Epidemiology of hypertension in Japan: where are we now? Circ J. 2013;77:2226-31. Christensen K, et al.	日本における高血圧症の位置付けについて予習・復習をしましょう。	120
6	英文講読 5	He FJ, Li J, Macgregor GA. Effect of longer term modest salt reduction on blood pressure: Cochrane systematic review and meta-analysis of randomised trials. BMJ. 2013;346:f1325.	高血圧症の予防・治療における食事療法の重要性、特に減塩について予習・復習をしましょう。	120
7	英文講読 6	He FJ, Li J, Macgregor GA. Effect of longer term modest salt reduction on blood pressure: Cochrane systematic review and meta-analysis of randomised trials. BMJ. 2013;346:f1325.	高血圧症の予防・治療における食事療法の重要性、特に減塩について予習・復習をしましょう。	120
8	英文講読 7	He FJ, Li J, Macgregor GA. Effect of longer term modest salt reduction on blood pressure: Cochrane systematic review and meta-analysis of randomised trials. BMJ. 2013;346:f1325.	高血圧症の予防・治療における食事療法の重要性、特に減塩について予習・復習をしましょう。	120
9	英文講読 8	He FJ, Li J, Macgregor GA. Effect of longer term modest salt reduction on blood pressure: Cochrane systematic review and meta-analysis of randomised trials. BMJ. 2013;346:f1325.	高血圧症の予防・治療における食事療法の重要性、特に減塩について予習・復習をしましょう。	120
10	英文講読 9	Kanauchi M, Kanauchi K. Diet quality and adherence to a healthy diet in Japanese male workers with untreated hypertension. BMJ Open. 2015;5:e008404.	高血圧症の治療における食事療法の重要性、特にダイエットを続けられるコツについて予習・復習をしましょう。	120
11	英文講読 10	Kanauchi M, Kanauchi K. Diet quality and adherence to a healthy diet in Japanese male workers with untreated hypertension. BMJ Open. 2015;5:e008404.	高血圧症の治療における食事療法の重要性、特にダイエットを続けられるコツについて予習・復習をしましょう。	120

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
12	英文講読 1 1	Kanauchi M, Kanauchi K. Diet quality and adherence to a healthy diet in Japanese male workers with untreated hypertension. BMJ Open. 2015;5:e008404.	高血圧症の治療における食事療法の重要性、特にダイエットを続けられるコツについて予習・復習をしましょう。 120
13	英文講読 1 2	注目されている最新の研究、論文未定	高血圧症の予防・治療における食事療法の重要性について予習・復習をしましょう。 120
14	英文講読 1 3	注目されている最新の研究、論文未定	高血圧症の予防・治療における食事療法の重要性について予習・復習をしましょう。 120
15	まとめ	総合討論 レポート提出	高血圧症の予防・治療における食事療法の重要性について予習・復習をしましょう。 120

平成31年度

科目名	栄養教育特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択	
担当教員	瀬戸 美江			
開講期	前期			
授業概要	栄養教育に関する論文作成の方法論を理解できるようになる。			
達成目標	栄養教育に関する論文作成の方法論を理解できるようになる。			
受講資格	修士課程1年生	成績評価 方法	平常点：60点 論文：40点	
教科書	必要に応じてプリントを配布する。			
参考書	特に指定しない。			
学生への要望	積極的に授業に臨むこと。			
オフィスタイム	授業終了後			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	ガイダンス	授業の進め方や評価方法の説明	0
2	栄養教育に関する論文作成の方法論を学ぶ	研究テーマについて考える。	0
3	栄養教育に関する論文作成の方法論を学ぶ	文献・資料を集め読みこむ。	0
4	栄養教育に関する論文作成の方法論を学ぶ	文献・資料を集め読みこむ。	0
5	栄養教育に関する論文作成の方法論を学ぶ	調査方法を学ぶ。	0
6	栄養教育に関する論文作成の方法論を学ぶ	アンケート調査表を作成する。	0
7	文献・資料を集め読みこむ	アンケート調査を行う。	0
8	栄養教育に関する論文作成の方法論を学ぶ	アンケート調査結果の集計を行う。	0
9	栄養教育に関する論文作成の方法論を学ぶ	統計処理について学ぶ。	0
10	栄養教育に関する論文作成の方法論を学ぶ	統計処理を行う。	0
11	栄養教育に関する論文作成の方法論を学ぶ	論文の書き方を学び、文章をまとめる。	0
12	栄養教育に関する論文作成の方法論を学ぶ	論文の書き方を学び、文章をまとめる。	0
13	栄養教育に関する論文作成の方法論を学ぶ	プレゼンテーションの方法について学ぶ。	0
14	栄養教育に関する論文作成の方法論を学ぶ	プレゼンテーション	0
15	まとめ	まとめ	0

科目名	生活統計学演習	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 1単位 選択	
担当教員	高橋 徹, 石原 正道			
開講期	前期			
授業概要	実社会で生じる様々な問題の原因を探求し解決するには多変量解析などの手法が有効である。また様々な製品は一定の規格を満たすよう生産されるが、個々の製品は基準値からのずれを有する。これらのずれを管理し一定の品質で供給するには統計学の知識が必要となる。本演習では統計学を理解するための数学、基本的な統計処理、多変量解析などを学ぶことにより、統計学を実際の問題に応用できるよう学修する。			
達成目標	本演習では統計学の手法を適用できるようになることを目的とする。具体的な目標は（１）統計学に必要な数学を理解すること、（２）実験・調査や生産管理で用いられる統計学の考え方を理解すること、（３）統計処理ソフトを用いて基本的な仮説検定や適合度の検定を行うことができること、である。			
受講資格	なし。	成績評価 方法	成績評価は課題によるものとし、配点の配分は、課題Iを50%、課題IIを50%とする。	
教科書	前半は、テキストを PDF として Web 上で配信する(同PDFの印刷物を授業時に配布する)。 後半は、印刷物を授業時に配布し、テキストとして使用する。			
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・前野 昌弘 三國 彰, 図解でわかる統計解析, 日本実業出版社 ・涌井 良幸, 涌井 貞美, 図解でわかる多変量解析, 日本実業出版社 ・縣 俊彦, やさしい栄養・生活統計学, 南江堂 ・宮城重二, 健康・栄養・生活の統計学, 光生堂 			
学生への要望	事前に配布資料に目を通しておき、理解できない部分を確認しておくこと。自ら参考書等にあたり、筆算による確認や統計処理を行ってみること。			
オフィスタイム	<p>[紺野] 月曜日 10:30-12:00 火曜日 12:50-14:20 研究室に来るときには連絡してください。</p> <p>[石原] 月曜日 16:10-17:05・木曜日 12:50-14:20, 情報処理教育研究室 他の時間でも構わないが、アポイントメントがあると確実に対応できる。 アポイントメント用連絡先 m_isihar@koriyama-kgc.ac.jp</p>			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	イントロダクション	本時の前半では、本演習で行う目的・内容・単位数・成績評価方法など説明を行う。後半では次回以降の授業の準備として単位と次元について学ぶ。	0
2	統計数学基礎 I (指数関数・数列と極限・和と和の記号)	統計処理を正しく実行するには、基礎的な数学を理解しておく必要がある。統計処理の基礎である正規分布を理解する上で必要な指数関数や多数のデータを扱う上で必要な数列と和について学ぶ。	0
3	統計数学基礎 II (確率)	統計の基礎には確率の概念がある。確率の概念を理解するために場合の数 (順列と組合せ) を学ぶ。次に確率変数を導入し、確率の考え方を理解する。	0
4	統計数学基礎 III (平均値・分散・標準偏差)	基本的な統計量として平均値や標準偏差がある。これまで学んだ確率変数や確率の概念を用い、平均値の計算方法を学ぶ。さらに統計処理で重要な分散と標準偏差を理解し、具体的な計算方法を学ぶ。	0
5	統計数学基礎 IV (ベクトルと行列)	実際の統計処理ではデータをベクトルや行列により表現することが多い。統計処理を正しく行うためには、ベクトルや行列についての基礎事項を理解しておく必要がある。本時ではベクトルおよび行列の基礎事項について学ぶ。	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
6	統計数学基礎 V (行列の演算・逆行列・固有ベクトル・固有値)	行列の形式で表現されたデータからの特徴量などを抽出するために、行列の対角化が行われることが多い。対角化を理解するためには固有値や固有ベクトルの理解が欠かせない。そこで本時では、行列の演算に必要な逆行列および固有ベクトルと固有値について、これらの量がどのような意味を有するのか学ぶ。	0
7	不偏標準偏差・相関係数	中心極限定理により、統計学において正規分布は特別な意味をもつ。正規分布を特徴付ける平均値と標準偏差は、データの平均値と不偏標準偏差を計算することによって得られる。ここでは不偏標準偏差の意味とその算出方法を学ぶ。また分散を拡張した共分散を学び、さらに関係性の指標として重要な相関係数を学ぶ。	0
8	課題 I	これまでに学んだ統計処理を実行するために必要な数学について修得状況を確認し、不十分な点について詳説することで、統計処理を行う上での基礎を確実なものとする。	0
9	仮説検定 I	パラメトリック仮説検定の基本的考え方を学ぶ。パラメトリックとは母数(平均、標準偏差など分布を規定するもの)があるということである。仮説検定は統計学、栄養・生活統計学の中で最も重要な分野である。帰無仮説、有意水準(危険率)、棄却、両側検定などの用語の意味について学ぶ。	0
10	仮説検定 II	パラメトリック仮説検定の2回目として、平均値の差の検定(対応のある場合、対応のない場合)、比率の差の検定(χ^2 乗検定)等について学ぶ。	0
11	仮説検定 III	パラメトリック仮説検定の3回目として、3群以上の平均値の同時比較ができる一元配置分散分析について学習する。例えば4地区でビタミンCの摂取量を調査し、地区により摂取量に差がでるかどうかを検定する場合などに用いられる。栄養学や家政学の実務、研究において有効な検定法である。	0
12	仮説検定 IV	ノンパラメトリック仮説検定。母集団の分布型について、仮定を設けない手法である。ここでは独立性の検定とクラスカル・ウォリス検定について学ぶ。データが順序尺度の場合、より効率のよい検定法としてクラスカル・ウォリス検定法がある。	0
13	疫学・保健統計 I	疫学は集団の健康レベル(疾病現象)を測定し、その原因を解明するとともに予防対策を立案し、その効果を評価する、というすべての過程であると考えられている。疫学調査では各種の数値指標の計算法の理解と習熟が要求されるが、今回学んだ生活統計学が実際どのような場面に利用されるかを学習する。例えばクロス集計における χ^2 乗検定の利用などがそれにあたる。	0
14	疫学・保健統計 II	保健統計では、人口統計、人口静態・動態統計、粗死亡率、年齢調整死亡率などさまざまな用語が使用される。これらの用語を解説しながら保健統計の理解を深める。	0
15	まとめ (課題 II)	栄養・生活統計学演習のまとめとして「実際の例題」を解きながらこれまで学んだ統計用語の理解を深める。	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容
---	----	------

科目名	科学的住生活特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 必修	
担当教員	山形 敏明			
開講期	前期			
授業概要	住生活に時間の概念や動線計画、機能分類等の科学的分析法が導入されたのは、戦後のことです。その主目的は、女性の家事労働軽減にありましたが、今日、家庭電化製品等により、家事に要する時間は大幅に短縮されました。一方、この戦後の大きな目的がごく短期間に達せられたために、住生活の科学的分析法は不十分のまま、という好ましくない結果をもたらしました。これからの住生活は、住まいが社会における原点、という普遍性を踏まえた上で、医学や環境学、色彩学等のあらゆる学問と有機的に連携しながら向上させなければなりません。本講義は、住生活における科学的分析法の成り立ち、及び次代に要求される手法を学ぶことを目的とします。			
達成目標	住生活における科学的分析法の成り立ちを理解し、研究内容に適した分析手法を利用できるようになること。			
受講資格	修士課程1年	成績評価 方法	レポート70%、プレゼンテーション30%	
教科書	適宜プリント及び資料配付			
参考書	「今和次郎と現考学」河出書房新社 「ダ・ヴィンチの物はこうして誕生した」技報堂出版			
学生への要望	新聞等のニュースから、現代の住生活及び住まいにおける問題点を考えて下さい。			
オフィスタイム	月曜日12:50～14:20・14:30～16:00 住居学研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容	
1	講義のガイダンス	今後の講義の目的や内容について説明します。	授業内容について復習	60
2	住居論についての考察	わが国の戦後の住まいを方向付けた既往研究（今和次郎や西山卯三他）について、考察します。同時にこれらが、科学的検証に基づいて行われたものであることを確認します。	授業内容について復習	60
3	住まい計画における空間比	住宅のモジュールについて理解した上で、住まいにおける各室（各機能）がどのような構成（面積）比で成り立っているか、過去の論と照らしながら考えます。	授業内容について復習	60
4	空間分析	まず、空間分析の目的を学びます。次に、空間分析を行う場合、研究の視点をどこに置くか、視点の相違による分析方法の違いについて、事例を用いて考えます。さらに、住宅雑誌等から幾つかの事例を選択調査し、空間分析の手法を実際に学びます。	レポート準備	60
5	空間分析の手法Ⅰ	前講義に引き続き、住宅雑誌等から幾つかの事例を選択調査し、空間分析の手法を実際に学びます。	レポート準備	60
6	空間分析の手法Ⅱ	前講義に引き続き、住宅雑誌等から幾つかの事例を選択調査し、空間分析の手法を実際に学びます。	授業内容について復習	60
7	空間分析の手法Ⅲ	前講義に引き続き、住宅雑誌等から幾つかの事例を選択調査し、空間分析の手法を実際に学びます。これらをデータとしてまとめ、レポートを作成します。	授業内容について復習	60
8	子ども室の在り方Ⅰ	戦後の住まいにおいて、最も力点が置かれた空間として子ども室があげられます。しかし、近年、幾つかの事件から問題点が指摘されています。本講義では、問題の根底を考えながら、年齢、色彩、発達心理、空間構成、空間認知等の多方面からその在り方を考察します。	授業内容について復習	60
9	子ども室の在り方Ⅱ	前講義に引き続き、子どもの年齢、色彩、発達心理、空間構成、空間認知等の多方面から子ども室の在り方を考察します。	授業内容について復習	60
10	夫婦室の在り方	戦後の住まいにおいて、力点が置かれた子ども室に比し、夫婦室は軽視されがちでした。本講義では、その重要性について考察します。また、住まいに対する意識は、男女によって著しく異なる、とされていますが、住宅設計及びジェンダーフリーの視点から、男女双方にとっての住まいの理想について考えます。	授業内容について復習	60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
11	台所の行方	戦後の台所は食物調達のための機能から、食事空間の一体化という発展を遂げてきましたが、近年は生活の変化から、両者（食物調達、食事）の機能とも消滅する傾向が報告されています。このことは、現在の生活のみならず人間生活の歴史において、大きな問題であるといえます。これらのことを踏まえて、今後の台所について考察します。	レポート準備 60
12	住宅調査におけるアンケート作成 I	住宅調査におけるさまざまなアンケート調査について学び、実際に目的別にアンケートを作成します。	授業内容について復習 60
13	住宅調査におけるアンケート作成 II	前講義に引き続き、住宅調査におけるさまざまなアンケート調査について学び、実際に目的別にアンケートを作成します。	授業内容について復習 60
14	住宅調査におけるアンケート集計	前講義で作成したアンケートの集計を通して、住宅調査における集計方法及び統計について学びます。	レポート準備 60
15	まとめ	これまでの講義を総括します。	レポート準備 60

平成31年度

科目名	科学的住生活演習	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	山形 敏明		
開講期	後期		
授業概要	本演習では、科学的住生活特論で修得した住生活における科学的分析法と次代に即した手法を演習する。事例を通し住生活における今日の問題点及びその背景を探り、それらの解決法をゼミ形式で討論しながら多角的に追求する。し、その結果を空間表現または図式化する事を達成目標とする。		
達成目標	本演習で修得した手法を十分理解するとともに活用できるようになること。また、その結果を空間表現または図式化する事ができるようになること。		
受講資格	修士課程1年	成績評価 方法	定期的に課すレポートの評価60%、講義への事前学習と討論内容についての評価40%
教科書	使用しない。		
参考書	適宜、紹介する。		
学生への要望	関連の手法を用いた既往論文について十分な予習を行うこと。		
オフィスタイトム	月曜日12:50~14:20、14:20~16:00 住居学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容
1	ガイダンス	本演習の進め方及び概論を講義し、導引とする。	課題に取り組む 60
2	分析手法の検証(1)	日本建築学会等の文献を基に、科学的住生活特論で学修した科学的分析手法の複数の実例を概観する。	課題に取り組む 60
3	分析手法の検証(2)	(1)での実例について継続して分析する。	課題に取り組む 60
4	分析手法の検証(3)	(1)(2)で得た知見について討論する。	レポート準備 90
5	分析手法の検証(4)	レポートについてのプレゼンテーションを行う。	レポート準備 90
6	分析手法の研究への応用	各自の研究概要についてプレゼンテーションし、2~5回までの講義の中で修得した分析手法をそれらの研究内容に応用することが可能であるか討論する。	課題に取り組む 60
7	分析手法に基づく研究計画の検討	可能とされる分析手法を用いて研究計画を検討し、計画の妥当性を評価する。	課題に取り組む 60
8	住生活における建築防災上の問題点	今日の住生活における建築防災上の問題点について討論する。	課題に取り組む 60
9	住生活における建築防災上の対策	前講義で討論された問題点について、その対策の実情と社会学的背景を踏まえて検討されるべき対策について考察する。	課題に取り組む 60
10	住生活における安全のための人間工学(1)	住生活における安全について人間工学的視点から検証する。人間の防災力と群集密度、過緊張と情報処理について科学的分析を試みる。	課題に取り組む 60
11	住生活における安全のための人間工学(2)	安全性能の評価について、イメージ評価、被害想定評価及び線形関数評価の問題演習を行う。	レポート準備 60
12	避難計画における行動特性	危急時における人間の行動特性について解析し、避難計画の考え方について討論する。	レポート準備 60
13	避難流動の解析	避難行動を予測する避難計算の問題演習を行う。	課題に取り組む 60
14	住宅設計の留意点	これまでの講義で修得した内容を元に、住宅設計上の留意点について整理検討する。	課題に取り組む 90
15	まとめ	各自レポートのプレゼンテーションを行う。本講座の総括をする。	課題に取り組む 90

科目名	科学的住生活実験	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 1単位 選択/大学院 人間生活学研究科修士課程 2年 1単位 選択
担当教員	長田 城治		
開講期	前期		
授業概要	本授業は、科学的住生活特論および科学的住生活実験で習得した住生活における科学的な分析方法を用い、住生活に関する各種実験・実習を行うことで実証的に住生活を理解する授業である。 自身が考える快適な住生活や居心地の良い住まいはどのようなものかを明確にし、住まいに対する利用者の心情を科学的に数値化し、解決する方策を実験を通して学修する。		
達成目標	①実験の準備や結果の考察をまとめることができたか。 ②安全に実験を行うことが出来たか。 ③快適な住生活や居心地の良い住まいを数値化できたか。		
受講資格	修士課程2年	成績評価 方法	①各種実験・実習に関するレポート（80%） ②実験ノートの最終提出物（20%）
教科書	特になし 必要に応じてプリントを配布		
参考書	必要に応じてプリントを配布		
学生への要望	安全に実験を行い、レポートは必ず期日までに提出すること。 自身の住生活に関する不満や問題点を把握し、それらを改善するための方策を考えること。		
オフィスタイム	月曜日12:50～14:20 木曜日8:50～10:20 本館1F No.2 住居学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容
1	ガイダンス	本授業の目的や実験・実習の概要について学びます。	授業内容の復習 60
2	【実験1】騒音レベルの調査・実験	機器の操作方法の習得、実験シートの作成、仮説に基づく実験結果を予想する。	実験シートの作成 60
3	【実験1】騒音レベルの調査・実験	機器の操作方法の習得、実験シートの作成、仮説に基づく実験結果を予想する。	実験シートの作成 60
4	【実験1】騒音レベルの調査・実験	騒音計を用いて、学内の騒音レベルを測定する。	実験結果の考察 60
5	【実験1】騒音レベルの調査・実験	騒音計を用いて、学外の騒音レベルを測定する。	実験結果の考察 60
6	【実験1】騒音レベルの調査・実験	騒音計を用いて、学外の騒音レベルを測定する。	実験結果の考察 60
7	【実験1】騒音レベルの調査・実験	調査・実験結果を基に、快適な教室環境を確保するために必要な手段を考察する。	実験ノートをまとめる 120
8	【実験1】騒音レベルの調査・実験	調査・実験結果を基に、快適な教室環境を確保するために必要な手段を考察する。	実験ノートをまとめる 120
9	【実験2】室内の温熱環境実験	機器の操作方法の習得、実験シートの作成、仮説に基づく実験結果を予想する。	実験シートの作成 60
10	【実験2】室内の温熱環境実験	機器の操作方法の習得、実験シートの作成、仮説に基づく実験結果を予想する。	実験シートの作成 60
11	【実験2】室内の温熱環境実験	夏涼しい住宅に関する工夫を住宅模型を用いて実験する。	実験結果の考察 60
12	【実験2】室内の温熱環境実験	夏涼しい住宅に関する工夫を住宅模型を用いて実験する。	実験結果の考察 60
13	【実験2】室内の温熱環境実験	冬暖かい住宅に関する工夫を住宅模型を用いて実験する。	実験結果の考察 60
14	【実験2】室内の温熱環境実験	冬暖かい住宅に関する工夫を住宅模型を用いて実験する。	実験結果の考察 60
15	【実験2】室内の温熱環境実験	調査・実験結果を基に、快適な住宅環境を確保するために必要な手段を考察する	実験ノートをまとめる 120
16	【実験2】室内の温熱環境実験	調査・実験結果を基に、快適な住宅環境を確保するために必要な手段を考察する	実験ノートをまとめる 120
17	【実験3】室内換気量実験	機器の操作方法の習得、実験シートの作成、仮説に基づく実験結果を予想する。	実験シートの作成 60
18	【実験3】室内換気量実験	機器の操作方法の習得、実験シートの作成、仮説に基づく実験結果を予想する。	実験シートの作成 60
19	【実験3】室内換気量実験	室内換気について住宅模型を用いて実験する。 換気方式の種類ごとに測定し、空気の流れや換気量計算を行う。	実験結果の考察 60
20	【実験3】室内換気量実験	室内換気について住宅模型を用いて実験する。 換気方式の種類ごとに測定し、空気の流れや換気量計算を行う。	実験結果の考察 60

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
21	【実験3】室内換気量実験	調査・実験結果を基に、快適な住宅環境を確保するために必要な手段を考察する	実験ノートをまとめる 120
22	【実験3】室内換気量実験	調査・実験結果を基に、快適な住宅環境を確保するために必要な手段を考察する	実験ノートをまとめる 120
23	【実験4】室内照度調査	調査・実験結果を基に、快適な住宅環境を確保するために必要な手段を考察する	実験シートの作成 60
24	【実験4】室内照度調査	機器の操作方法の習得、実験シートの作成、仮説に基づく実験結果を予想する。	実験シートの作成 60
25	【実験4】室内照度調査	照度計を用いて教室環境の明るさを評価する。	実験結果の考察 60
26	【実験4】室内照度調査	照度計を用いて教室環境の明るさを評価する。	実験結果の考察 60
27	【実験4】室内照度調査	調査結果を基に、快適な教室環境を確保するために必要な手段を考察する。	実験ノートをまとめる 120
28	【実験4】室内照度調査	調査結果を基に、快適な教室環境を確保するために必要な手段を考察する。	実験ノートをまとめる 120
29	まとめ	各種調査・実験で得られた成果を考察し、快適な住環境および居心地の良い住まいを提案する。	全ての実験ノートを見返して復習する 120
30	まとめ	各種調査・実験で得られた成果を考察し、快適な住環境および居心地の良い住まいを提案する。	全ての実験ノートを見返して復習する 120

科目名	生活環境実験	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 1単位 選択/大学院 人間生活学研究科修士課程 2年 1単位 選択
担当教員	未定, 影山 志保		
開講期	前期		
授業概要	生活習慣病が国民の健康に重要な問題となってきた。国民の死亡率一位は悪性新生物であり、部位別では肺の疾患が高齢者の直接の死亡原因になっている。 この講義では、健康日本21で問題となる健康障害に対する対策を検討する。 それら病原因子である化学物質や病原微生物・ウイルスの生活環境中での分析結果の文献調査資料に基づき、その対策を考察する。 対象とする生活環境は、水・大気・土壌・食品・嗜好品などを取り扱う。 これら病原による発症機構についても学び、生活環境の評価方法を検討して行くことを目的とする。		
達成目標	生活習慣病が国民の健康に重要な問題となってきた。国民の死亡率一位は悪性新生物であり、部位別では肺の疾患が高齢者の直接の死亡原因になっている。 この講義では、健康日本21で問題となる健康障害に対する対策を検討する。 それら病原因子である化学物質や病原微生物・ウイルスの生活環境中での分析結果の文献調査資料に基づき、その対策を考察する。 対象とする生活環境は、水・大気・土壌・食品・嗜好品などを取り扱う。 これら病原による発症機構についても学び、生活環境の評価方法を検討して行くことを目的とする。		
受講資格	大学院修士課程の学生	成績評価 方法	授業における「気づき」「探究心」「説明力」とレポートによる最終試験 ①レポート100点
教科書	特になし。 ただし、資料や原著の活用		
参考書	特になし。 ただし、資料や原著の活用		
学生への要望	人間は環境からのストレスに影響を受けやすい集団が存在する。具体的には発達段階の子供であったり、高齢者、疾病の罹患患者などである。 幼児教育・栄養士・福祉士等はこれら免疫弱者を対象とする職能である。いわば環境因子に影響を受けやすい人間集団の特性を科学的に理解しておく必要がある。 環境因子や疾病については学生の希望を考慮する。		
オフィスタイム	授業開始前、授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	オリエンテーション	この科目を受講した理由と学びたい分野について説明していただく。 テーマを個人的に設定する。テーマは病原菌(B)と毒性物質(O)を各1つ設定する。 授業計画を立てる。 資料や原著を検討するために図書館を調査する。	0
2	テーマ(B)の基礎知識-1	印刷資料や参考書に基づいて、基礎知識を学ぶ。 テーマに関する概要：歴史経緯、危害	0
3	テーマ(B)の基礎知識-2	印刷資料や参考書に基づいて、基礎知識を学ぶ。 病原因子に関する概要：環境分布、曝露条件、感染経路	0
4	テーマ(B)の基礎知識-3	印刷資料や参考書に基づいて、基礎知識を学ぶ。 病原因子に関する概要：病気の自然史など	0
5	テーマ(B)の基礎知識-4	印刷資料や参考書に基づいて、基礎知識を学ぶ。 病原因子に関する概要：検出方法や毒性機構	0
6	テーマ(B)の基礎知識-5	印刷資料や参考書に基づいて、基礎知識を学ぶ。 病原因子に関する概要：生体の反応	0
7	テーマ(C)の基礎知識-1	印刷資料や参考書に基づいて、基礎知識を学ぶ。 テーマに関する概要：歴史経緯、危害	0
8	テーマ(C)の基礎知識-2	印刷資料や参考書に基づいて、基礎知識を学ぶ。 病原因子に関する概要：環境分布、曝露条件、感染経路	0
9	テーマ(C)の基礎知識-3	印刷資料や参考書に基づいて、基礎知識を学ぶ。 病原因子に関する概要：病気の自然史など	0
10	テーマ(C)の基礎知識-4	印刷資料や参考書に基づいて、基礎知識を学ぶ。 病原因子に関する概要：検出方法や毒性機構	0
11	テーマ(C)の基礎知識-5	印刷資料や参考書に基づいて、基礎知識を学ぶ。 病原因子に関する概要：生体の反応	0
12	生活環境中の危害因子の分析方法と曝露条件	仮説に基づいた病原因子と疾病で、危害因子の分析方法と曝露状況に関する報告を調べる。 論文の要旨や実験データをまとめて、疾病の原因としての仮説を立てる。	0
13	危害因子の感染経路と生体内挙動と排泄経路	危害因子の曝露条件だけでなく、感染経路、生体内挙動や排泄経路など疾病の症状を説明しているか調べる。 罹患者の地域的分布などが危害因子の挙動に一致しているか検討する。	0

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
14	危害因子による発病機構	発病機構に関する報告を調査する。その発病機構を傷害すると疾病が抑制されるか検討した報告を調査する。		0
15	生活環境中の危害因子の除去方法	生活環境中の危害因子の除去する事によって、疾病が抑制されることを確認して、危害因子の環境中での閾値を調べる。その基準値が定められた場所で、その疾病の発生頻度が抑制されているか検討する。		0

科目名	建築設計演習Ⅱ	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 4単位 選択
担当教員	藤田 延幸		
開講期	前期		
授業概要	建築設計演習Ⅰに引き続き、鉄筋コンクリート造や鋼構造、混構造の設計を、現代において必要とされる建築をテーマとして社会問題とリンクさせながら設計する。さらに、設計事務所等業務の一環であり、建築的思考およびその表現の効果的かつ集中的に実践できる建築コンペティションへの参加可能な作品制作をすることを目的とする。なお、この科目は一級建築士受験に係わる大学院における実務経験の要件となるインターンシップ科目である。 実務経験：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務め、その経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務める。		
達成目標	高いレベルで自らの建築作品のコンセプト、計画の方法、その表現がなされていること。 優秀案選出を目指してコンペに応募することを目標とする。		
受講資格	大学院修士課程	成績評価 方法	作品成果発表（コンセプト内容、計画方法の法的適正、斬新さ、表現の明解性、美しさ）で評価する。 評価項目は、知識力30%、応用力・問題解決力70%とする。
教科書	特に使用しない。		
参考書	課題説明時に適宜紹介する。		
学生への要望	実践的な知識と技術を持って、現実的な作品成果を目指すこと。		
オフィスタイム	月曜日授業開始前：創学館2階教務部非常勤講師室 月曜日授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	授業ガイダンス、「ショッピングセンター」課題説明	授業ガイダンス、「ショッピングセンター」課題説明	0
2	課題の主旨、関連事項のスタディー	課題の主旨、関連事項のスタディー	0
3	エスキスチェック	エスキスチェック	0
4	エスキスチェック	エスキスチェック	0
5	図面、模型作成	図面、模型作成	0
6	図面、模型作成	図面、模型作成	0
7	図面、模型作成	図面、模型作成	0
8	作品成果の発表、課題提出	作品成果の発表、課題提出	0
9	「劇場」課題説明、資料収集	「劇場」課題説明、資料収集	0
10	課題の主旨、関連事項のスタディー	課題の主旨、関連事項のスタディー	0
11	エスキスチェック	エスキスチェック	0
12	エスキスチェック	エスキスチェック	0
13	図面、模型作成	図面、模型作成	0
14	図面、模型作成	図面、模型作成	0
15	作品成果の発表、課題提出	作品成果の発表、課題提出	0

平成31年度

科目名	建築設計特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択/大学院 人間生活学研究科修士課程 2年 2単位 選択	
担当教員	山形 敏明			
開講期	後期			
授業概要	建築分野における各種団体の業務や役割について学び、広く建築界の仕組みを知る。また、プロポーザルやコンペティションの事例研究を通して、そのプロセスや社会的意義、コンセプトの立案手法、プレゼンテーションテクニックを学ぶ。なお、この科目は一級建築士受験に係る大学院における実務経験の要件となるインターンシップ科目である。			
達成目標	当講義内容を理解し、建築設計事務所等で業務に携わるための実践的手法及び技術者として倫理観を修得していること。			
受講資格	修士1年	成績評価 方法	レポート70%、プレゼンテーション30%の割合で評価する。	
教科書	適宜、資料を配布する。			
参考書	適宜紹介する。			
学生への要望	今日の建築界の仕組みを把握するために、建設関連の新聞記事等に親しむこと。			
オフィスタイム	月曜日12:50~14:20、14:30~16:00 住居学研究室			

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	授業内容	
1	授業ガイダンス	授業のガイダンス、建築分野における諸団体の概要について解説する。	授業内容をテキストで復習	60
2	建築士の責務	建築士の責務及び、日本建築士会の業務及び役割について講義する。	授業内容をテキストで復習	60
3	日本建築学会について	建築関連業務に多くの基準を策定している日本建築学会の学術的位置づけについて解説する。	授業内容をテキストで復習	60
4	日本建築家協会について	JIA（日本建築家協会）の業務及び役割について講義する。	授業内容をテキストで復習	60
5	建設業協会について	建設業協会、福島県の木工組合他の業務及び役割について講義する。	授業内容をテキストで復習	60
6	防災と建築関連団体について	災害時における建築関連団体の役割と責務、及び活躍事例について講義する。	授業内容をテキストで復習	60
7	地方自治体との関係について	地方自治体と建築関連各種団体との関連について解説する。	授業内容をテキストで復習	60
8	入札制度について	プロポーザルやコンペティションのプロセスについて講義する。	授業内容をテキストで復習	60
9	コンペティションについて	コンペティションの事例を紹介し理解を深める。	授業内容をテキストで復習	60
10	プロポーザルについて	プロポーザルの事例を紹介し理解を深める。	授業内容をテキストで復習	60
11	福島県の事例について	福島県におけるプロポーザルやコンペティションにおいて建設された建築の事例研究を行う。	授業内容をテキストで復習	60
12	問題点について	プロポーザルやコンペティションの事例における当落及び問題点等に関する議論する。	授業内容をテキストで復習	60
13	設計コンセプトと手法	プロポーザルにおける設計コンセプトの把握と立案手法について講義する。	授業内容をテキストで復習	60
14	表現テクニック	プロポーザルやコンペティションにおける表現テクニックについて研究する。	授業内容をテキストで復習	60
15	まとめ	レポート発表を行い、本講座について総括する。	授業内容をテキストで復習	60

平成31年度

科目名	建築生産計画特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	堀井 勝典		
開講期	前期		
授業概要	<p>1. 学科3年のときに学んだ施工を、さらに深く掘り下げ、施工のプロセスおよびその実務の関連などを有機的、絶対的に把握してもらうことを目的とする。</p> <p>2. いずれ建築士を取得するための知識の習得。 実務経験：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計会社社長を務め、その経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計会社社長を務める。</p>		
達成目標	<p>1. 学科3年のときに学んだ施工を、さらに深く掘り下げ、施工のプロセスおよびその実務の関連などを有機的、絶対的に把握してもらうことを目的とする。</p> <p>2. いずれ建築士を取得するための知識の習得。</p>		
受講資格	修士課程1年生	成績評価 方法	授業20%、小テスト30%、小論文50%
教科書	図説建築施工入門、建築施工教科書		
参考書	特に指定しない		
学生への要望	少数なのでとにかく頑張ること。		
オフィスタイム	水曜日授業開始前（創学館2階教務部内非常勤講師室）、授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	着工準備	設計、契約、営業活動、各種書類手続き	0
2	着工準備	建設産業の構造、施工管理、近隣関係	0
3	着工準備	敷地の確認、現場事務所、着工、測量	0
4	土工事、基礎工事	地下工事、根切り、近隣対策	0
5	土工事、基礎工事	杭打工事	0
6	躯体工事	鉄筋工事（加工図、製作図、検査）	0
7	躯体工事	現場における建方、鉄筋工事の流れ	0
8	躯体工事	コンクリート工事（躯体図、加工図、検査）	0
9	躯体工事	健物の解体	0
10	躯体工事	建築の工業化	0
11	仕上工事	躯体工事から仕上工事への移行	0
12	仕上工事	防水工事（下地、養生）	0
13	仕上工事	部屋の仕上工事（床、壁、天井）	0
14	仕上工事	外部の仕上工事（タイル、吹抜）	0
15	まとめ	最終まとめ	0

平成31年度

科目名	建築構造計画特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	濱尾 博文		
開講期	前期		
授業概要	大学4年間で学んだ建築構造の基礎知識、または、これまで学んできた一般力学や物理学、数学の知識を結合して、建築デザインを行う上でこれらをどう活用し、どう計画していくのか、どのように応用、展開していくのか、具体的な事案、実際に直面する問題を交えながら学んでいく。 実務経験：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所代表取締役を務め、その経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所代表取締役を務める。		
達成目標	大学4年間で学んだ建築構造の基礎知識、または、これまで学んできた一般力学や物理学、数学の知識を結合して、建築デザインを行う上でこれらをどう活用し、どう計画していくのか、どのように応用、展開していくのか、具体的な事案、実際に直面する問題を交えながら学んでいく。		
受講資格	大学院修士課程	成績評価 方法	試験100%
教科書	特に指定しない。		
参考書	特に指定しない。		
学生への要望	予習、復習を必ず行うこと		
オフィスタイト	授業開始前、授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容		
1	イントロダクション	「建築構造計画とは」建築設計との位置づけと社会的役割		0
2	構造計算モデル1	応用解析に用いる解析用モデルの作り方、基礎的ルール		0
3	構造計算モデル2	実物から解析可能なまでに単純化されたモデルの作り方		0
4	荷重と変形1	単純な架構モデルに力が加わった時の変形と曲げのモーメント		0
5	荷重と変形2	単純な架構モデルの応力図における釣り合いと反力		0
6	荷重と変形3	やや複雑な架構モデルの応力の求め方		0
7	荷重の考え方	建築設計で想定される荷重の種類と考え方		0
8	応用解析1	解析モデルの入力の方法		0
9	応用解析2	モデルの応力解析と結果の検証		0
10	応用解析3	実例に近いモデルの応力解析と結果の検証		0
11	断面算定1	応力度、断面に関する数値（断面2次モーメント）		0
12	断面算定2	応力度、断面に関する数値（断面係数）		0
13	座屈	座屈とは、座屈を起こすしくみ		0
14	たわみ	たわみが起こる仕組み、たわみ量と荷重の関係		0
15	保有水平耐力	保有水平耐力を求める意味と、必要保有水平耐力の決め方		0

科目名	建築材料特論	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 2単位 選択
担当教員	藤田 延幸		
開講期	後期		
授業概要	授業の到達目標及びテーマ 建築材料のもつ基本的特性を説明した上で、それが実際の建物でどのように組み合わせて施工されているかを理解してもらう。 将来の建築材料として、どのようなものが考えられるか予想する。 授業の概要 「材料」の理解を容易にするため、各種材料を構造的なものから、仕上の、機能的なもの順に説明し、基本を理解してもらう。次いで応用編、材料の組合せによってどのような効果が生まれ、その配慮をすることで醸し出される空間の色々を実例で示す。 実務経歴：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務め、その経験を活かし、授業を行う。 実務経歴：一級建築士として建築事務所勤務を経て、現在建設設計事務所長を務める。		
達成目標	授業の到達目標及びテーマ 建築材料のもつ基本的特性を説明した上で、それが実際の建物でどのように組み合わせて施工されているかを理解してもらう。 将来の建築材料として、どのようなものが考えられるか予想する。 授業の概要 「材料」の理解を容易にするため、各種材料を構造的なものから、仕上の、機能的なもの順に説明し、基本を理解してもらう。次いで応用編、材料の組合せによってどのような効果が生まれ、その配慮をすることで醸し出される空間の色々を実例で示す。		
受講資格	人間生活学研究科人間生活学専攻1年生	成績評価 方法	定期試験により評価します。
教科書	「建築材料（第四版）」編著：橋高義典、杉山央 市ヶ谷出版社 「建築材料教科書（第六版）」編著：建築材料教科書研究会 彰国社		
参考書	参考資料があれば配付します。		
学生への要望	積極的に授業に参加すること。		
オフィスタイム	授業開始前：創学館2階教務部非常勤講師室 授業終了後		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	
1	授業の概要説明	授業の概要説明	0
2	[構造用材料] 1. 木材	[構造用材料] 1. 木材	0
3	[構造用材料] 2. 構造用金属材料	[構造用材料] 2. 構造用金属材料	0
4	[構造用材料] 3. コンクリート	[構造用材料] 3. コンクリート	0
5	[内外装材料] 4. 非金属材料	[内外装材料] 4. 非金属材料	0
6	[内外装材料] 5. 石材	[内外装材料] 5. 石材	0
7	[内外装材料] 6. ガラ	[内外装材料] 6. ガラス	0
8	[内外装材料] 7. セラミック	[内外装材料] 7. セラミック	0
9	[内外装材料] 8. プラスチック	[内外装材料] 8. プラスチック	0
10	[内外装材料] 9. 左官材料	[内外装材料] 9. 左官材料	0
11	[内外装材料] 10. 塗装	[内外装材料] 10. 塗装	0
12	[内外装材料] 11. 外壁パネル	[内外装材料] 11. 外壁パネル	0
13	[機能材料] 12. 防水材料、防耐火材料、断熱材料	[機能材料] 12. 防水材料、防耐火材料、断熱材料	0
14	[機能材料] 13. 音響材料、免震・制振材料	[機能材料] 13. 音響材料、免震・制振材料	0
15	各種建築材料の組み合わせの効果・実例紹介	各種建築材料の組み合わせの効果・実例紹介	0

平成31年度

科目名	実務実習 I (インターンシップ)	対象 単位数 必選	大学院 人間生活学研究科修士課程 1年 6単位 選択
担当教員	山形 敏明		
開講期	通年		
授業概要	建築設計事務所等において建築設計及び工事監理を体験しつつ一連の業務内容を理解し、これらの実務を建築士の指導下において実習することで、大学及び大学院で学修した建築技術を実践的なものにし、技術者としての職業倫理を身につけることを目的とする。なお、この科目は一級建築士受験に係る大学院における実務経験の要件となるインターンシップ科目である。		
達成目標	建築設計及び工事管理について、一連の業務内容を理解していること。建築士の指導下で、大学及び大学院で学修した建築技術を実践的なものにし、技術者としての職業倫理を身につけていること。		
受講資格	人間生活学専攻修士課程	成績評価 方法	成績は、指定された実習報告書（実習内容とその成果や考察を記したもの）及び実習成果の報告会における発表内容と質疑応答によって総合的に評価する。なお、成績評価の配分は応用力40%、発想力・活用力60%とする。
教科書	必要な資料は適宜配布する。		
参考書	必要な書籍や指針などは適宜紹介する。		
学生への要望	学生が建築士事務所に出向き、一級建築士の指導下において設計や工事監理に関わる業務の補助を行う。実習期間中に実習日報を適宜提出し、実習終了後に実習報告書を提出して実習成果の報告会をおこなうこと		
オフィスタイム	月曜日12:50~14:20、14:30~16:00 住居学研究室		

-授業内容とスケジュール-

回	項目	授業内容	60
1	授業計画	<p>実習先にて一級建築士の指導下で建築設計と工事監理に関する実務訓練を行いつつ、その実務に必要な学習を行う。</p> <p>学修時間は実習先の事務所における勤務時間内にて、計240時間の実習を行い、実習報告書の作成と発表を含めて270時間とする。実習内容の時間配分は概ね次の通りとする。実習の時期は、1年次の夏季及び春季休業の期間に行うことを原則とするが、実習先の業務の都合等により変更できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画図面の作成実習（模型作成等を含む）：70～90時間 ・実習図面の作成実習（図面修正等を含む）：120～140時間 ・施工現場の工事監理実習：20～40時間 計230時間 ・実習報告書の作成と報告会：別途学内にて実施 <p>総計240時間</p>	実習報告書等の作成